

Ⅱ 施設に入所している方を 対象とした調査

(1) 調査票の回答者

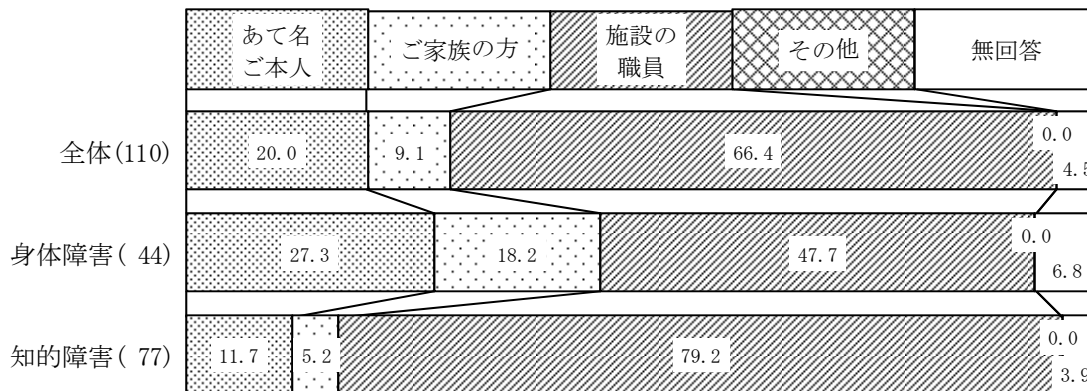
問1 この調査票に回答していただく方はどなたですか。(〇はひとつ)

全体では、「あて名ご本人」が20.0%、「ご家族の方」が9.1%、「施設の職員」が66.4%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「あて名ご本人」がやや多くなっています。

問1 調査票の回答者

単位:%



1 ご本人について

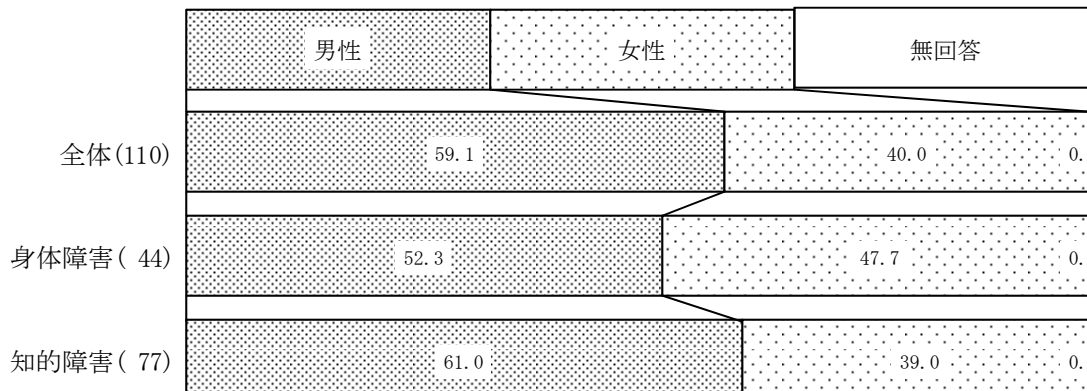
(1) 性別

問2 あなたの性別をお聞きします。(〇はひとつ)

全体では、「男性」が59.1%、「女性」が40.0%となっています。
障害別の結果もほぼ同様の傾向でした。

問2 性別

単位:%



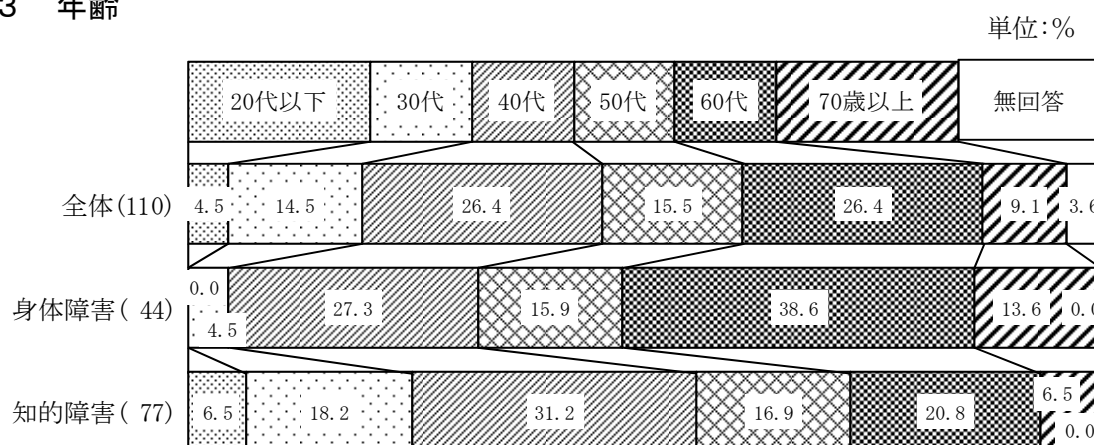
(2) 年齢

問3 あなたの年齢をお聞きします。平成23年10月1日現在の満年齢をお書きください

全体では、「40代」と「60代」がそれぞれ26.4%と最も多く、次いで「50代」が15.5%、「30代」が14.5%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「60代」が、知的障害では「40代」が最も多くなっています。

問3 年齢



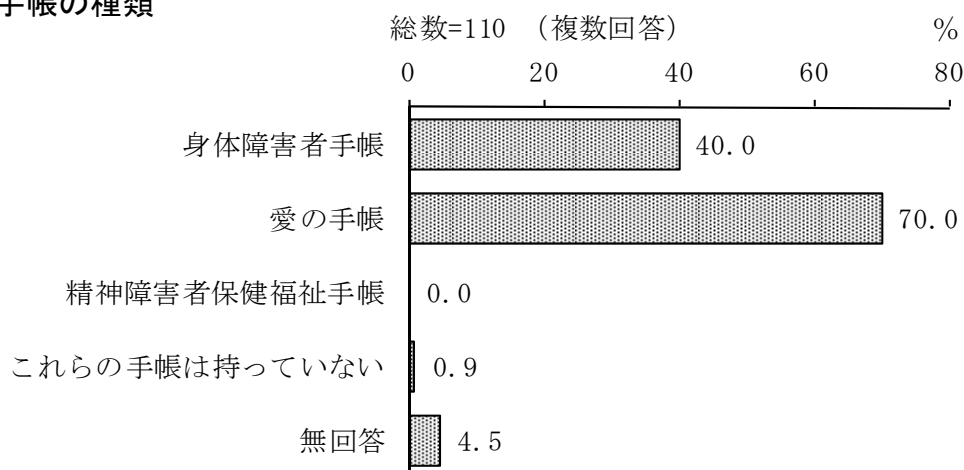
(3) 手帳の種類

問4 あなたが持っている手帳の種類をお聞きします。手帳をお持ちの方は、等級・程度にも○をつけてください。(○はいくつでも)

①手帳の種類

「愛の手帳」が70.0%と最も多く、次いで「身体障害者手帳」が40.0%となっています。

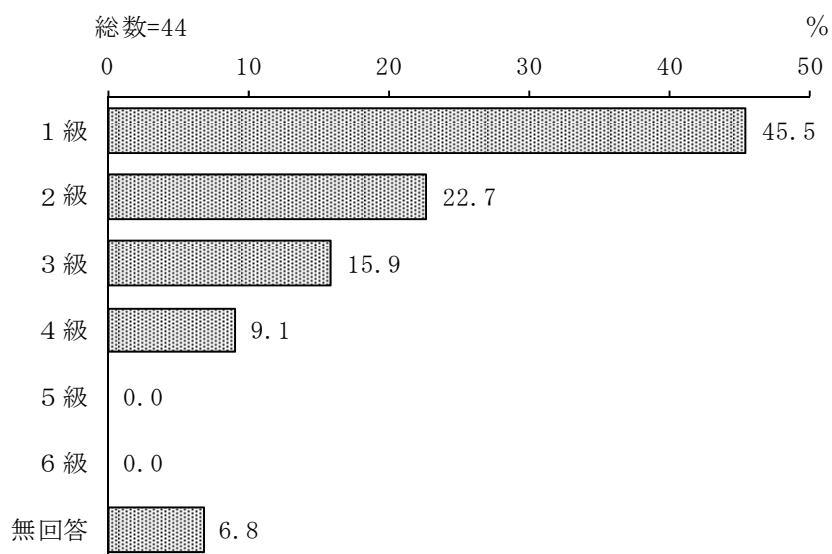
問4① 手帳の種類



②身体障害者手帳の等級

「1級」が45.5%と最も多く、次いで「2級」が22.7%、「3級」が15.9%、「4級」が9.1%となっています。

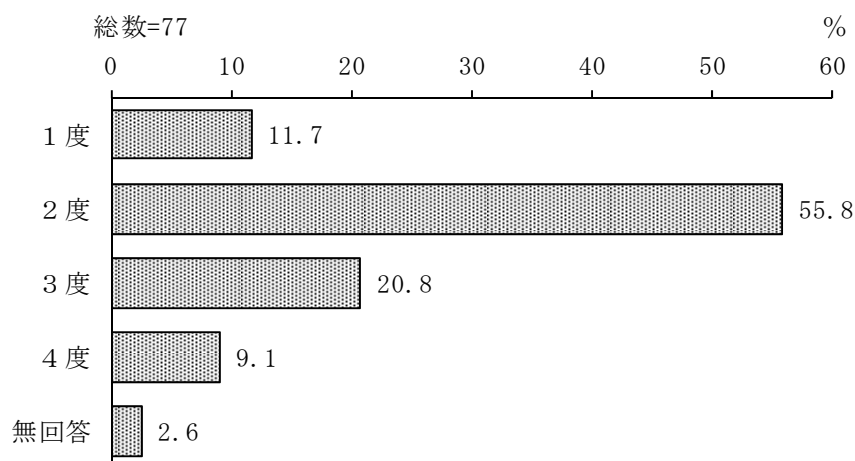
問4② 身体障害者手帳の等級



③愛の手帳の程度

「2度」が55.8%と最も多く、次いで「3度」が20.8%、「1度」が11.7%、「4度」が9.1%となっています。

問4③ 愛の手帳の程度

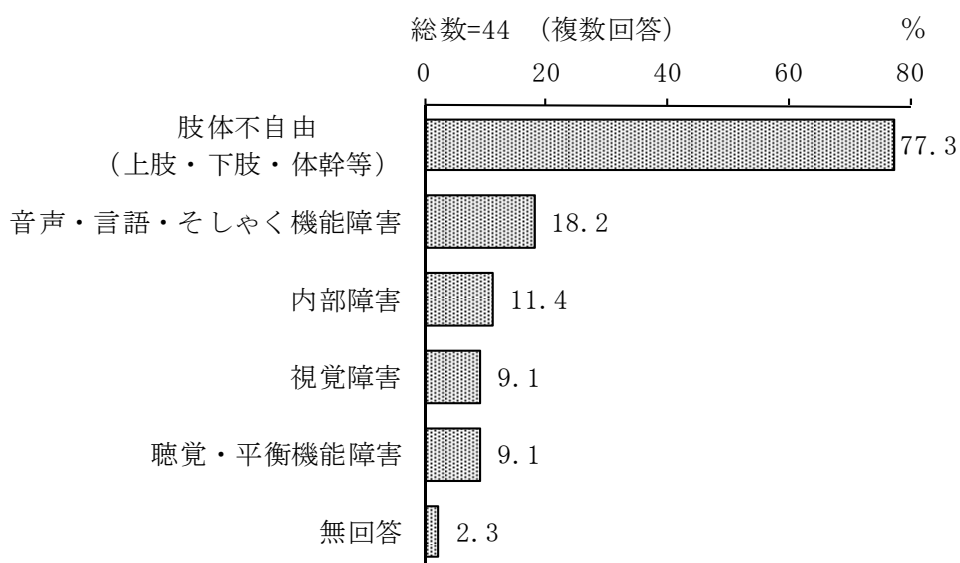


(4) 身体障害の種類

問5 身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします。障害の種類は何ですか。(〇はいくつでも)

「肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）」が 77.3%と最も多く、次いで「音声・言語・そしゃく機能障害」が 18.2%、「内部障害（心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓）」が 11.4%、「視覚障害」と「聴覚・平衡機能障害」がそれぞれ 9.1%となっています。

問5 身体障害の種類



(5) 自宅に住んでいる家族

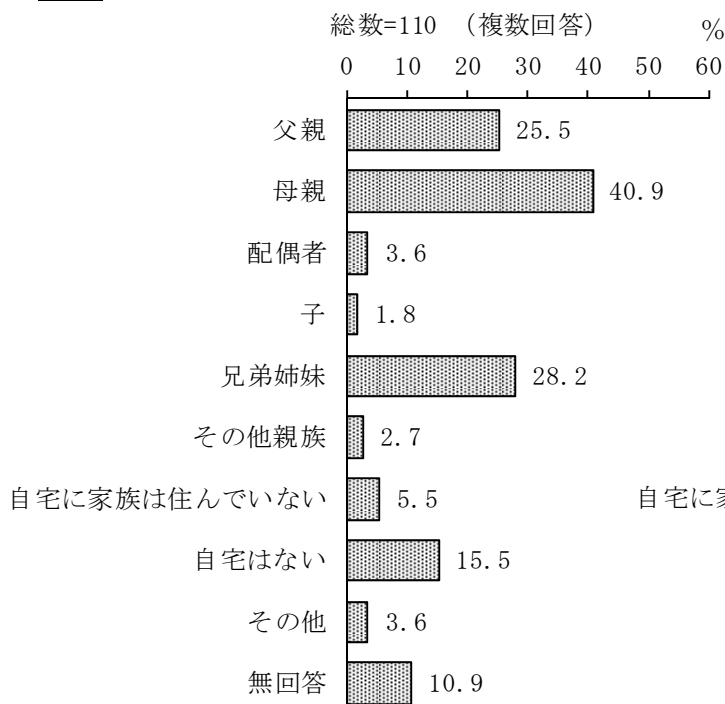
問6 あなたのご自宅に住んでいる家族の方をお聞きします。(〇はいくつでも)

全体では、「母親」が40.9%と最も多く、次いで「兄弟姉妹」が28.2%、「父親」が25.5%となっています。「自宅に家族は住んでいない」は5.5%、「自宅はない」は15.5%でした。

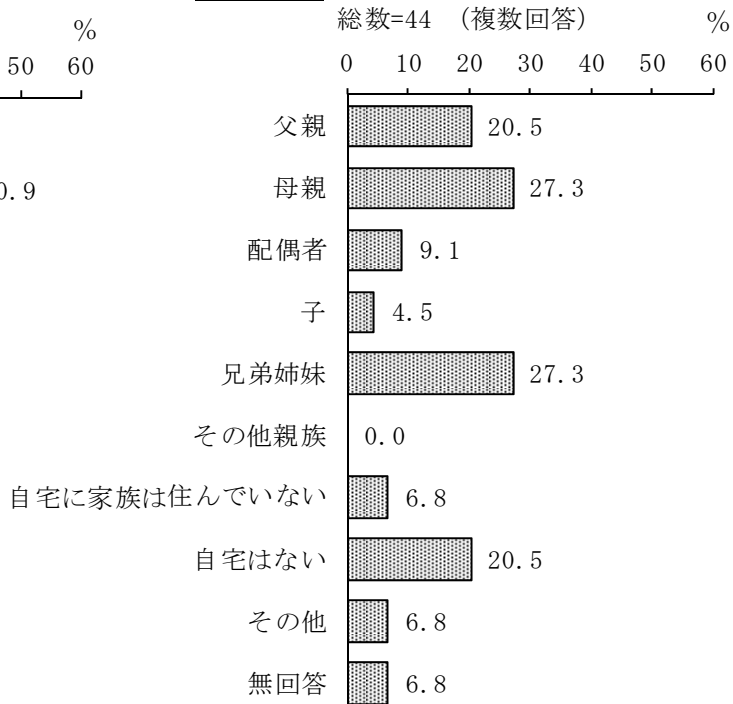
障害別に見ると、身体障害では「自宅はない」がやや多くなっています。

問6 自宅に住んでいる家族

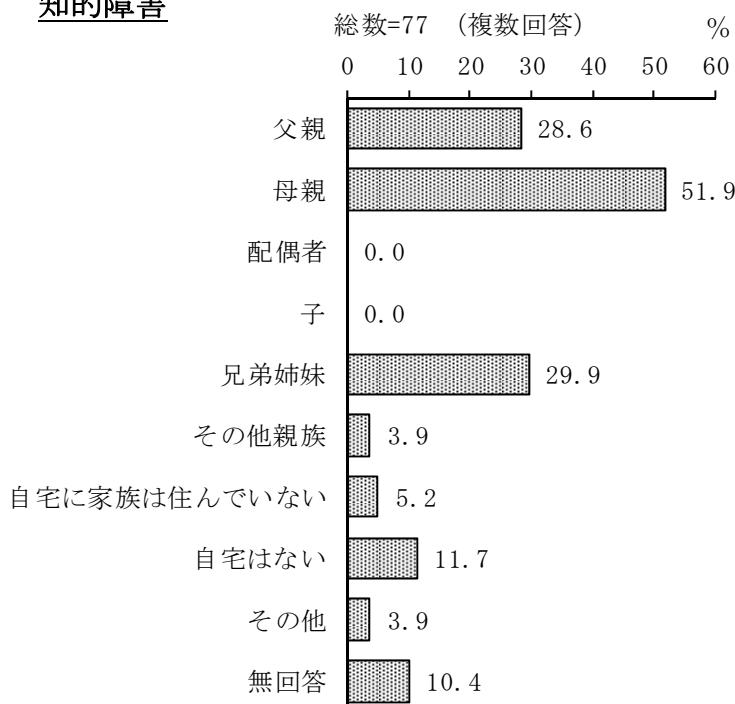
全体



身体障害



知的障害



障害ごとに年代別の結果を見ると、知的障害の「18～39歳」では「母親」が73.7%、「父親」が63.2%と多くなっています。

自宅に住んでいる家族と年代（障害別）

	全体	父親	母親	配偶者	子	兄弟姉妹	その他親族	自宅に家族は住んでいない	自宅はない	その他	無回答
全体	110 100.0	28 25.5	45 40.9	4 3.6	2 1.8	31 28.2	3 2.7	6 5.5	17 15.5	4 3.6	12 10.9
無回答	6 100.0	1 16.7	1 16.7	-	-	1 16.7	-	-	1 16.7	-	4 66.7
身体障害	18～39歳	2 100.0	2 100.0	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-	-	-
	40～64歳	29 100.0	7 24.1	11 37.9	1 3.4	1 3.4	10 34.5	-	2 6.9	4 13.8	2 6.9
	65歳以上	13 100.0	-	-	3 23.1	1 7.7	1 7.7	-	1 7.7	5 38.5	1 7.7
知的障害	18～39歳	19 100.0	12 63.2	14 73.7	-	-	7 36.8	1 5.3	-	2 10.5	-
	40～64歳	50 100.0	9 18.0	26 52.0	-	-	12 24.0	2 4.0	4 8.0	6 12.0	2 4.0
	65歳以上	8 100.0	1 12.5	-	-	-	4 50.0	-	-	1 12.5	1 12.5
無回答	6 100.0	1 16.7	1 16.7	-	-	1 16.7	-	-	1 16.7	-	4 66.7

2 施設入所について

(1) 入所している施設

問7 あなたが現在入所して生活している施設をお聞きます。(〇はひとつ)

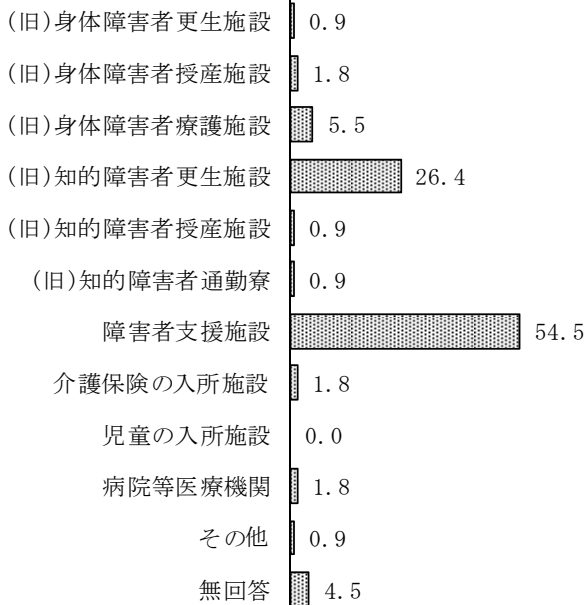
全体では、「障害者支援施設」が54.5%と最も多く、次いで「(旧)知的障害者更生施設」が26.4%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「(旧)身体障害者療護施設」がやや多くなっています。

問7 入所している施設

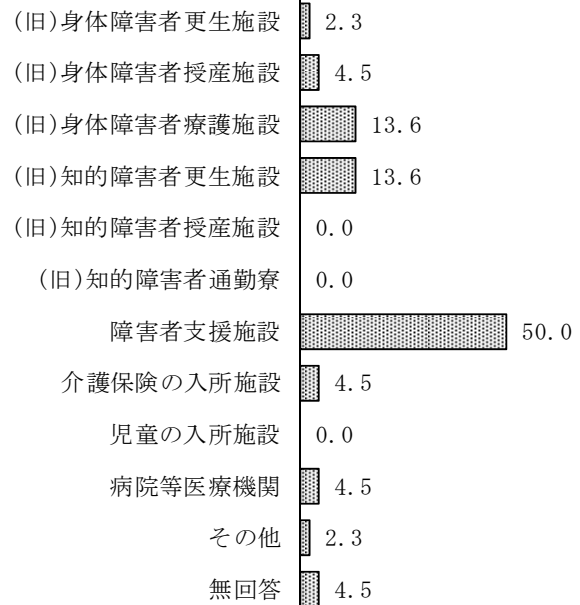
全体

総数=110 %
0 20 40 60 80



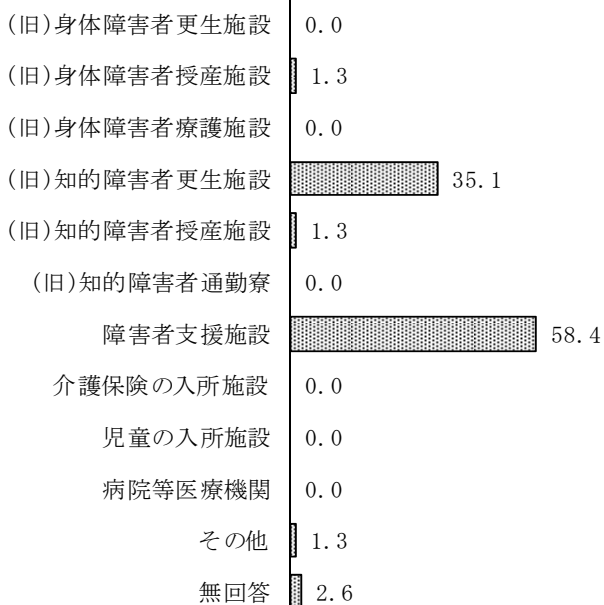
身体障害

総数=44 %
0 20 40 60 80



知的障害

総数=77 %
0 20 40 60 80



(2) 施設のある地域

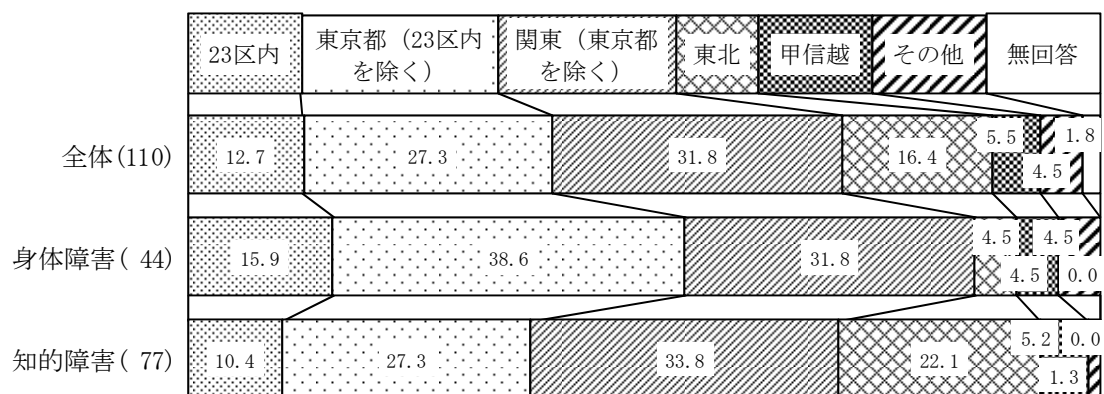
問8 あなたが現在入所している施設のある地域をお聞きします。(〇はひとつ)

「関東（東京都を除く）」が31.8%と最も多く、次いで「東京都（23区内を除く）」が27.3%、「東北」が16.4%、「23区内」が12.7%となっています。

障害別に見ると、知的障害では「東北」がやや多くなっています。

問8 施設のある地域

単位：%



(3) 入所年数

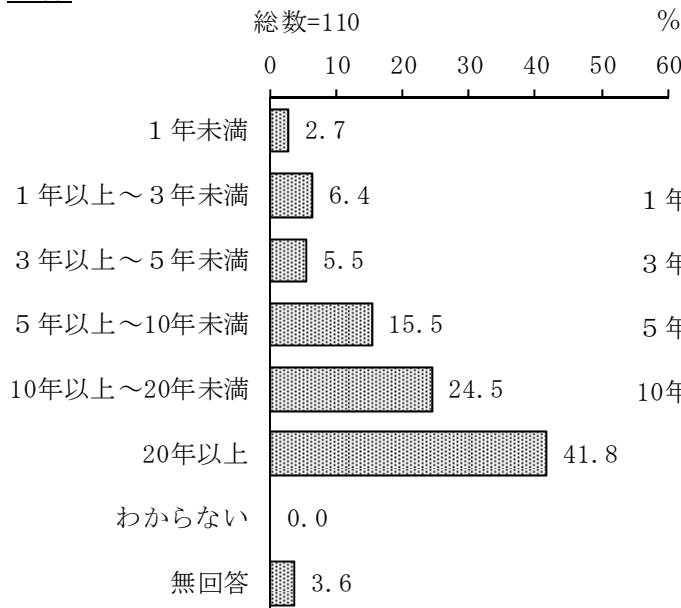
問9 あなたが現在の施設に入所してからの年数をお聞きします。(〇はひとつ)

全体では、「20年以上」が41.8%と最も多く、次いで「10年以上～20年未満」が24.5%、「5年以上～10年未満」が15.5%となっています。

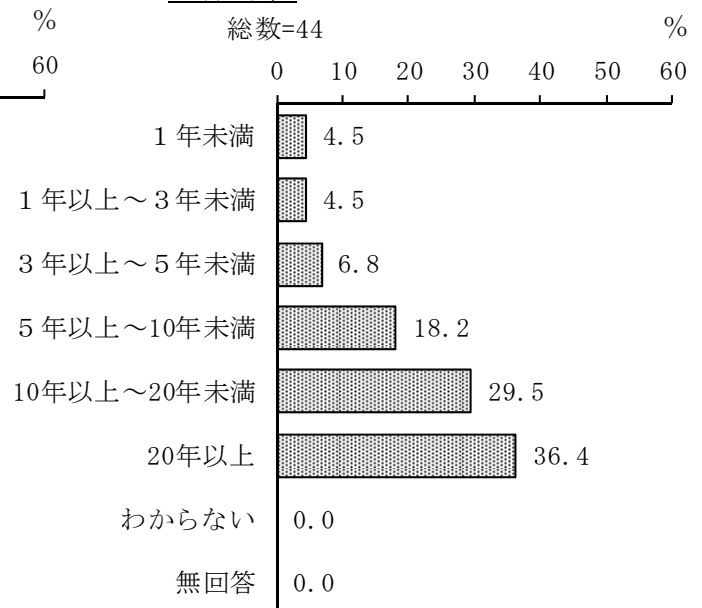
障害別に見ると、知的障害では「20年以上」が特に多くなっています。

問9 入所年数

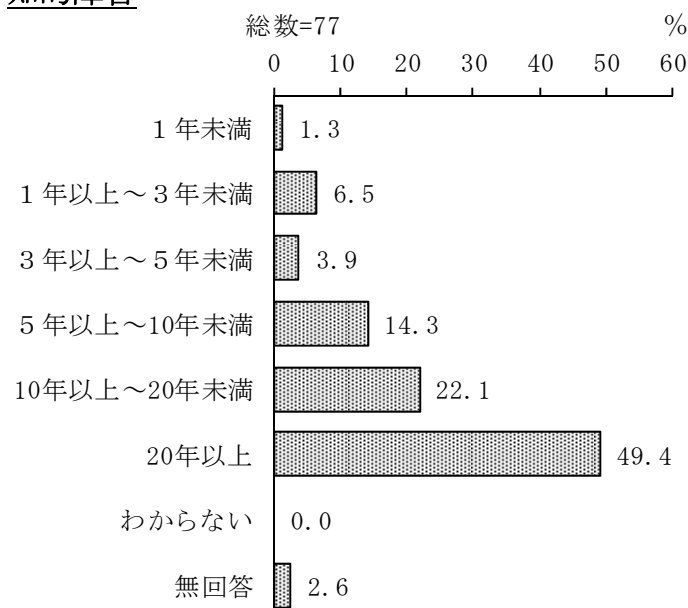
全体



身体障害



知的障害



(4) 施設に入所することを決めた理由

問 10 あなたが現在の施設に入所することに決めた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

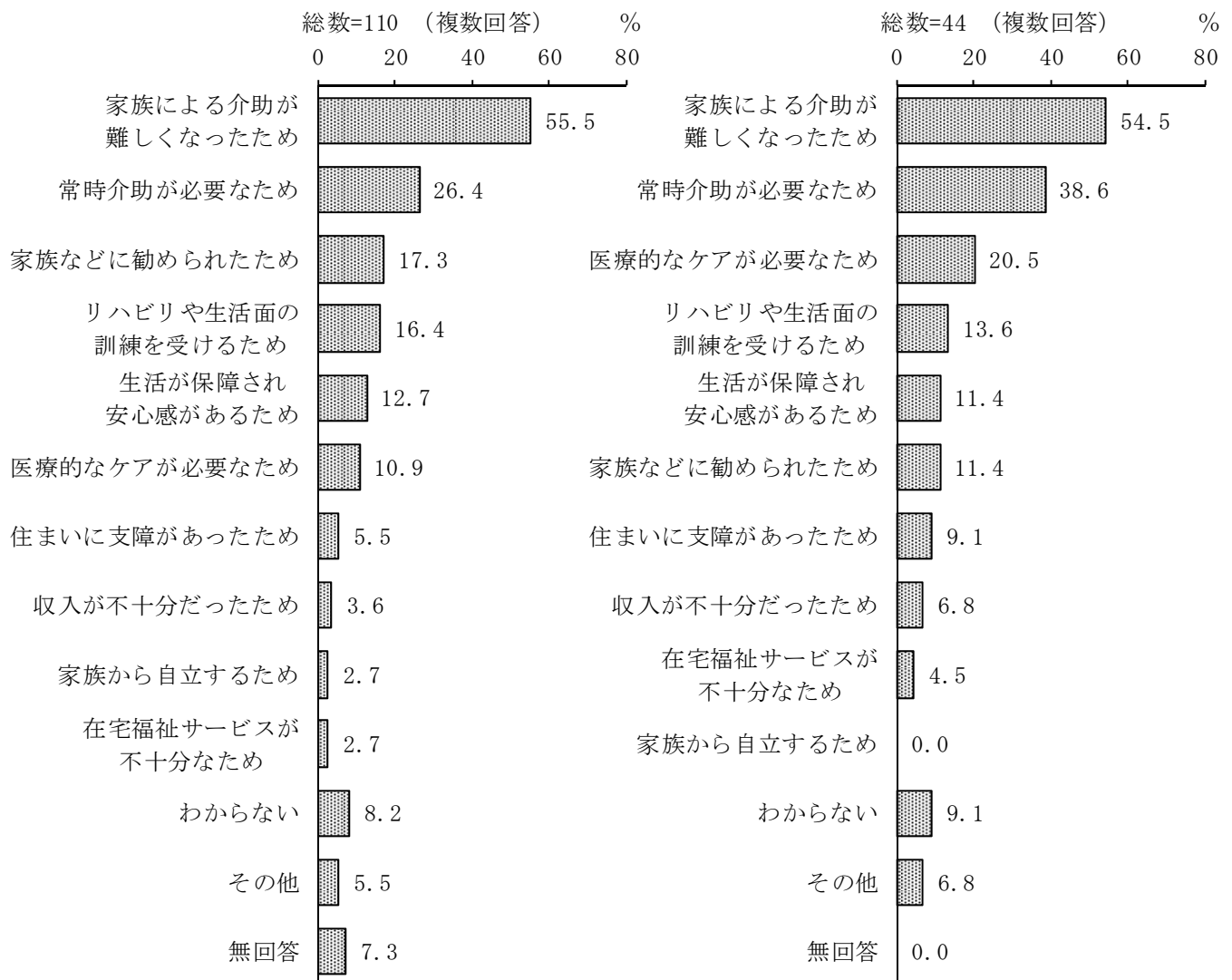
全体では、「家族による介助が難しくなったため」が 55.5%と最も多く、次いで「常時介助が必要なため」が 26.4%、「家族などに勧められたため」が 17.3%、「リハビリや生活面の訓練を受けるため」が 16.4%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「常時介助が必要なため」、「医療的なケアが必要なため」がやや多くなっています。

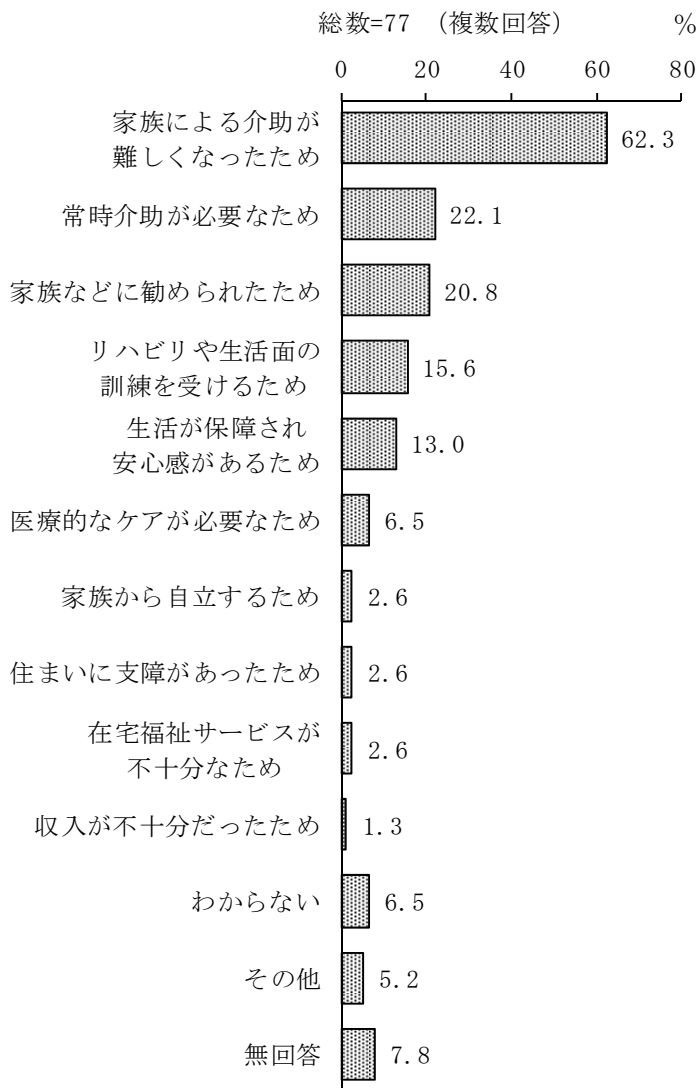
問 10 施設に入所することを決めた理由

全体

身体障害



知的障害



障害ごとに性別の結果を見ると、身体障害の女性では「常時介助が必要なため」が52.4%と多くなっています。

施設に入所することを決めた理由と性別（障害別）

		全体	家族から自立するため	リハビリや生活面の訓練を受けるため	生活が保障され安心感があるため	家族による介助が難しくなったため	常時介助が必要なため	医療的なケアが必要なため	住まいに支障があつたため	在宅福祉サービスが不十分なため
	全体	110 100.0	3 2.7	18 16.4	14 12.7	61 55.5	29 26.4	12 10.9	6 5.5	3 2.7
身体障害	男性	23 100.0	-	4 17.4	5 21.7	10 43.5	6 26.1	3 13.0	2 8.7	1 4.3
	女性	21 100.0	-	2 9.5	-	14 66.7	11 52.4	6 28.6	2 9.5	1 4.8
知的障害	男性	47 100.0	2 4.3	8 17.0	7 14.9	30 63.8	13 27.7	3 6.4	2 4.3	2 4.3
	女性	30 100.0	-	4 13.3	3 10.0	18 60.0	4 13.3	2 6.7	-	-
	無回答	6 100.0	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7	-	-	-

		収入が不十分だったため	家族などに勧められたため	わからない	その他	無回答
	全体	4 3.6	19 17.3	9 8.2	6 5.5	8 7.3
身体障害	男性	1 4.3	4 17.4	3 13.0	1 4.3	-
	女性	2 9.5	1 4.8	1 4.8	2 9.5	-
知的障害	男性	-	13 27.7	2 4.3	1 2.1	4 8.5
	女性	1 3.3	3 10.0	3 10.0	3 10.0	2 6.7
	無回答	-	1 16.7	1 16.7	-	2 33.3

3 施設での生活について

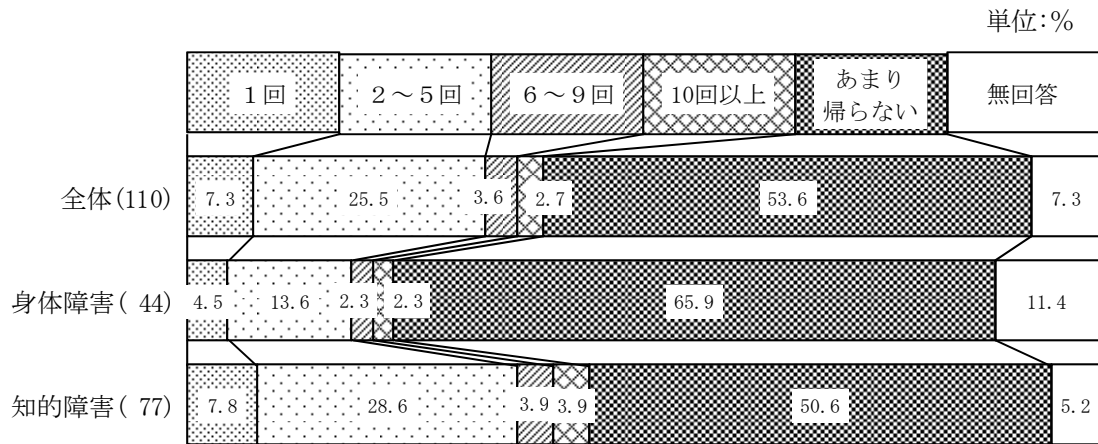
(1) 自宅に帰る回数

問 11 あなたが1年間に自宅に帰る回数をお聞きします。(〇はひとつ)

全体では、「あまり帰らない」が53.6%と最も多く、次いで「2～5回」が25.5%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「あまり帰らない」が特に多くなっています。

問 11 自宅に帰る回数



障害ごとに年代別の結果を見ると、身体障害の「65歳以上」では「40～64歳」に比べて「あまり帰らない」が76.9%と多くなっています。

自宅に帰る回数と年代（障害別）

		全体	1回	2～5回	6～9回	10回以上	あまり帰らない	無回答
全体		110 100.0	8 7.3	28 25.5	4 3.6	3 2.7	59 53.6	8 7.3
身体障害	18～39歳	2 100.0	-	-	1 50.0	-	1 50.0	-
	40～64歳	29 100.0	2 6.9	6 20.7	-	1 3.4	18 62.1	2 6.9
	65歳以上	13 100.0	-	-	-	-	10 76.9	3 23.1
知的障害	18～39歳	19 100.0	-	6 31.6	2 10.5	2 10.5	8 42.1	1 5.3
	40～64歳	50 100.0	5 10.0	16 32.0	1 2.0	1 2.0	26 52.0	1 2.0
	65歳以上	8 100.0	1 12.5	-	-	-	5 62.5	2 25.0
無回答		6 100.0	-	3 50.0	1 16.7	-	2 33.3	-

(2) 自宅に帰るとき困ること

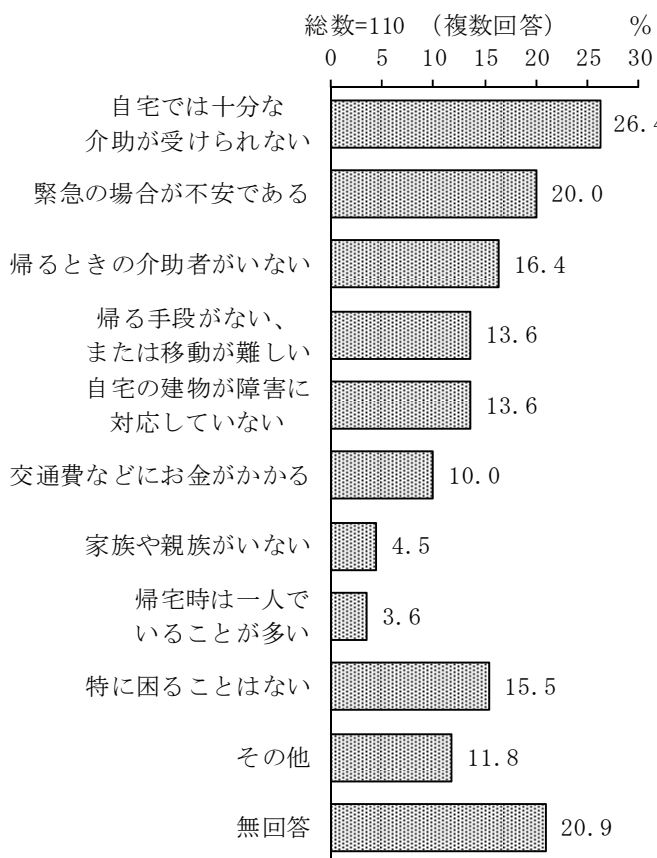
問12 あなたが一時自宅に帰るときなどに困ることはありますか。(〇はいくつでも)

全体では、「自宅では十分な介助が受けられない」が26.4%と最も多く、次いで「緊急の場合が不安である」が20.0%、「帰るときの介助者がいない」が16.4%となっています。

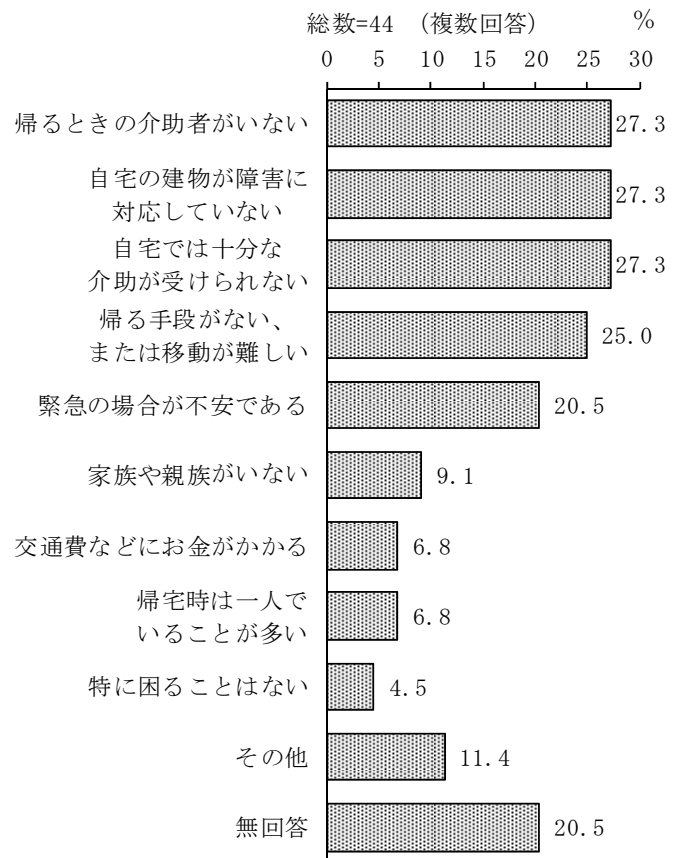
障害別に見ると、身体障害では「帰るときの介助者がいない」、「自宅の建物が障害に対応していない」、「自宅では十分な介助が受けられない」が最も多くなっています。

問12 自宅に帰るとき困ること

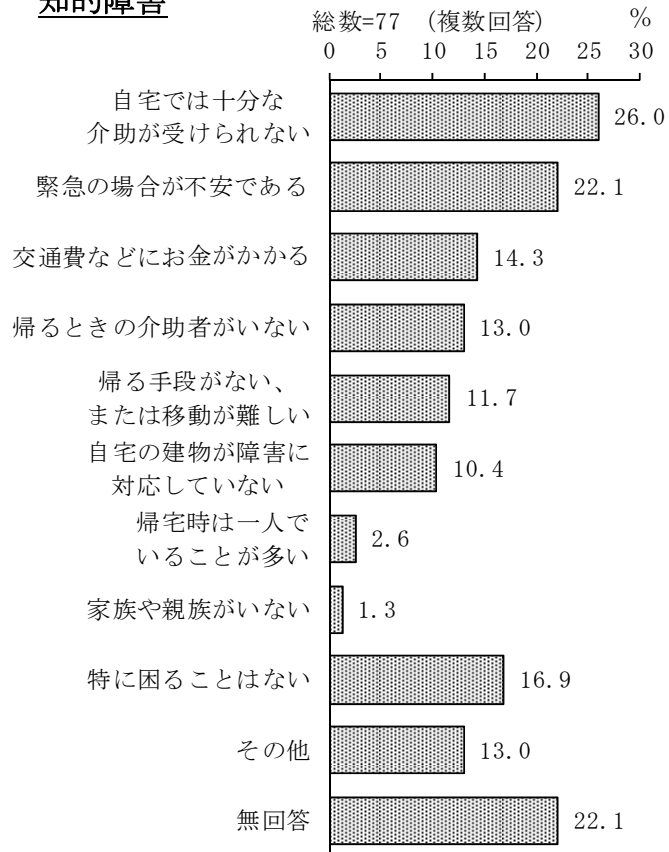
全体



身体障害



知的障害

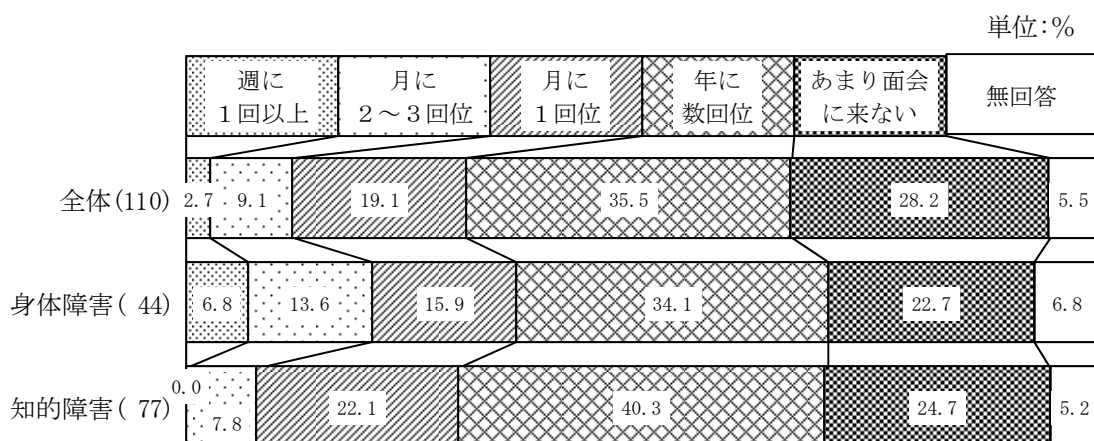


(3) 面会に来る回数

問 13 あなたの家族が面会に来る回数をお聞きます。(○はひとつ)

全体では、「年に数回位」が 35.5%と最も多く、次いで「あまり面会に来ない」が 28.2%、「月に1回位」が 19.1%となっています。
障害別の結果もほぼ同様の傾向でした。

問 13 面会に来る回数

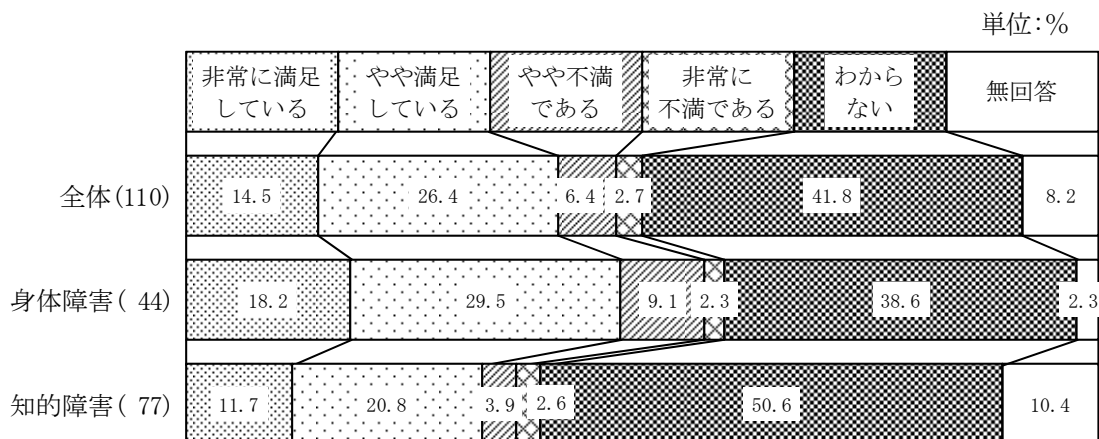


(4) 施設生活の満足度

問 14 あなたは、施設での生活に満足していますか。(○はひとつ)

全体では、「やや満足している」が 26.4%と最も多く、次いで「非常に満足している」が 14.5%、「やや不満である」が 6.4%、「非常に不満である」が 2.7%となっています。
満足しているという回答は約4割、不満であるという回答は1割弱でした。
障害別の結果もほぼ同様の傾向でした。

問 14 施設生活の満足度



(5) 施設生活で困っていること

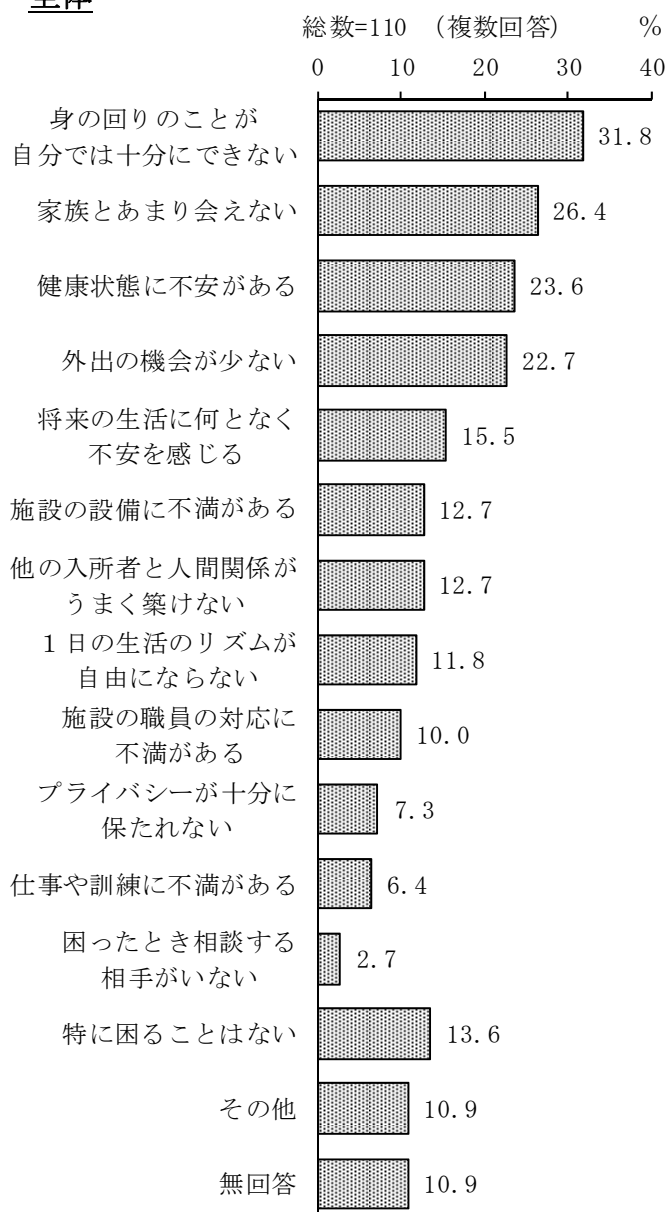
問 15 あなたが現在の暮らしの中で、困ることや不安に感じていることはありますか。
(〇はいくつでも)

全体では、「身の回りのことが自分では十分にできない」が 31.8%と最も多く、次いで「家族とあまり会えない」が 26.4%、「健康状態に不安がある」が 23.6%、「外出の機会が少ない」が 22.7%となっています。

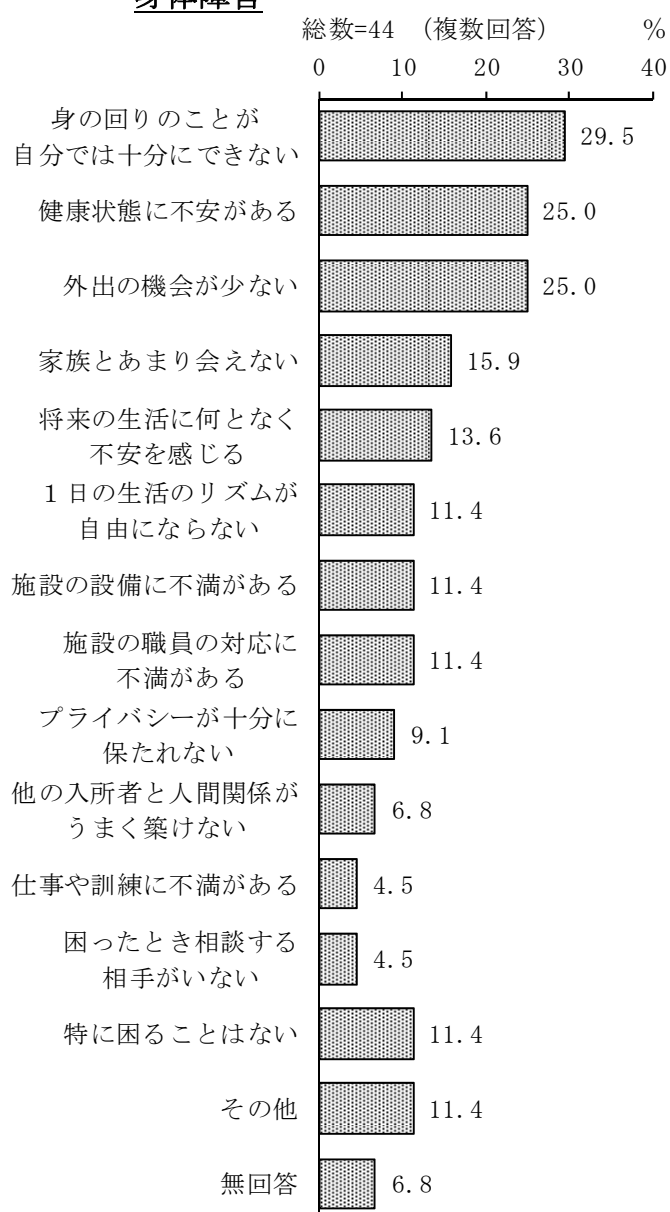
障害別に見ると、知的障害では「家族とあまり会えない」がやや多くなっています。

問 15 施設生活で困っていること

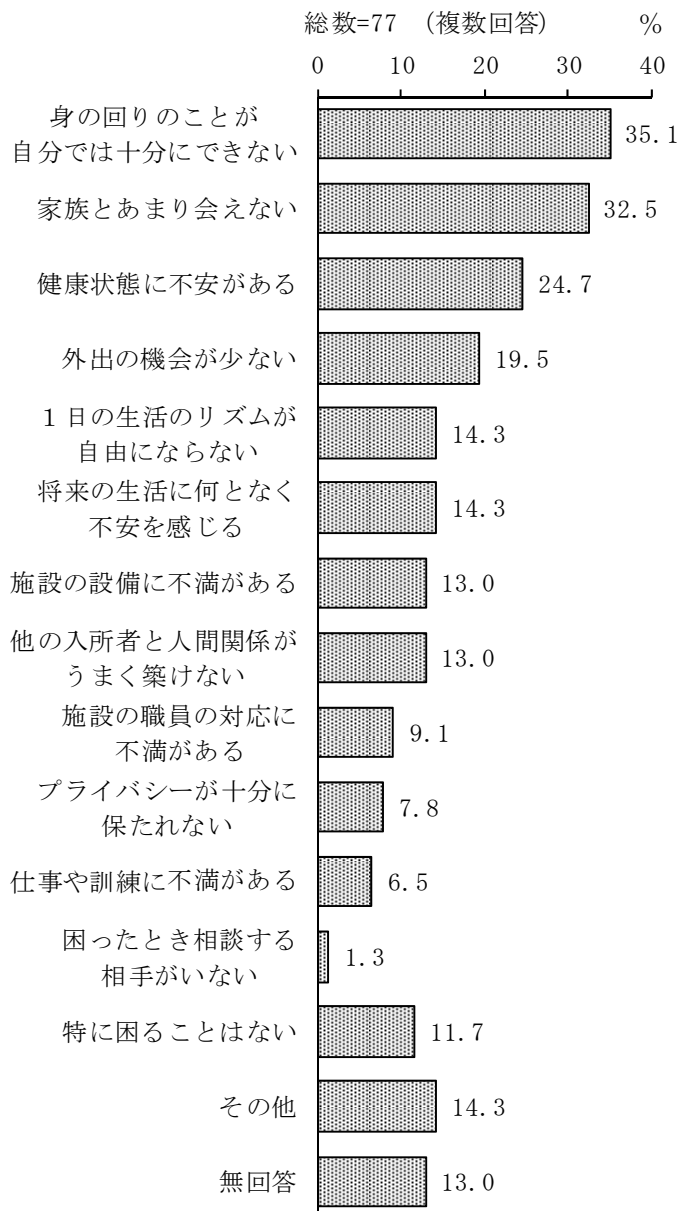
全体



身体障害



知的障害



(6) 施設に対する要望

問 16 あなたは、現在入所している施設に対して、どのような要望がありますか。(〇はいくつでも)

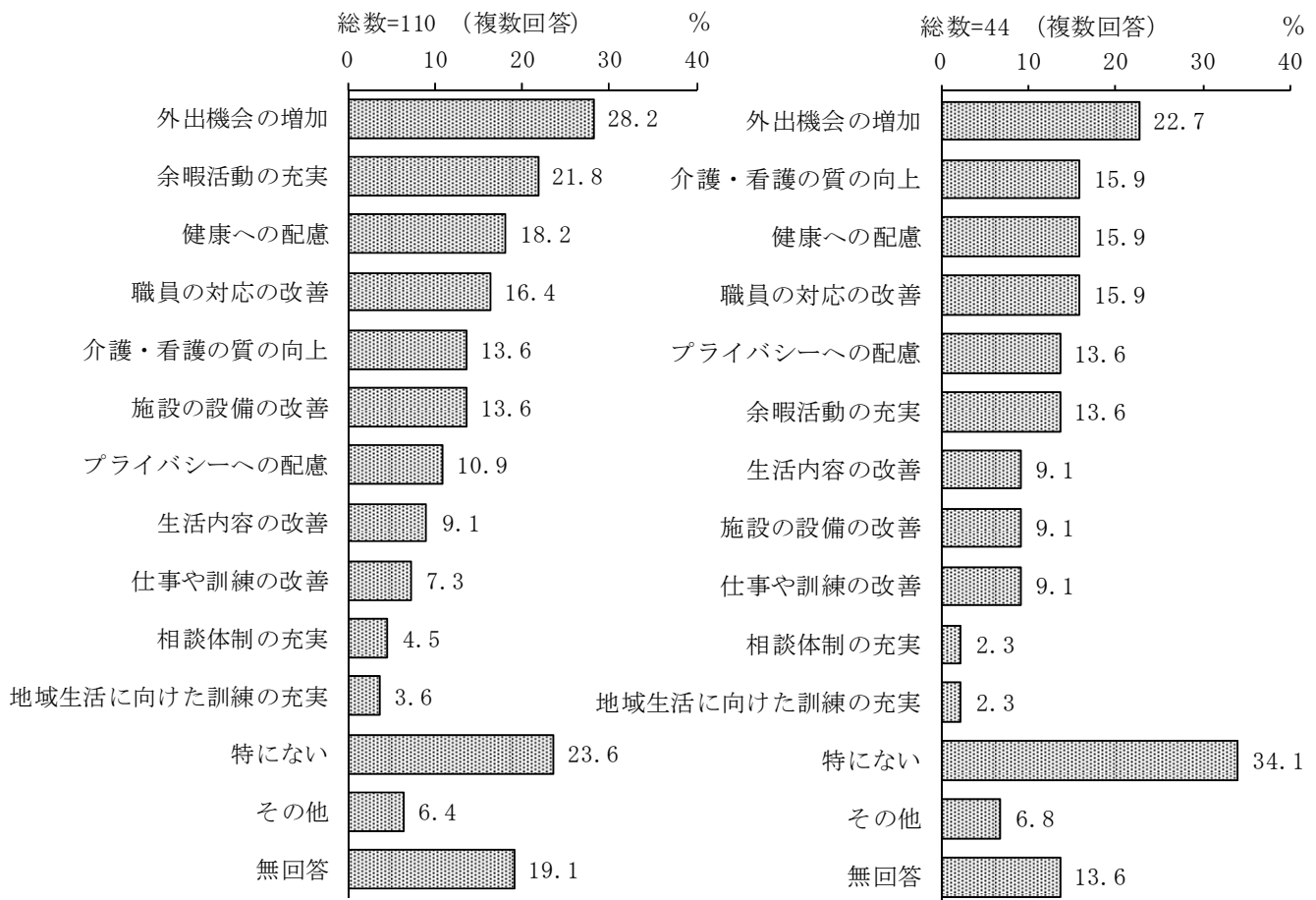
全体では、「外出機会の増加」が 28.2%と最も多く、次いで「余暇活動の充実」が 21.8%、「健康への配慮」が 18.2%となっています。

障害別に見ると、知的障害では「余暇活動の充実」がやや多くなっています。

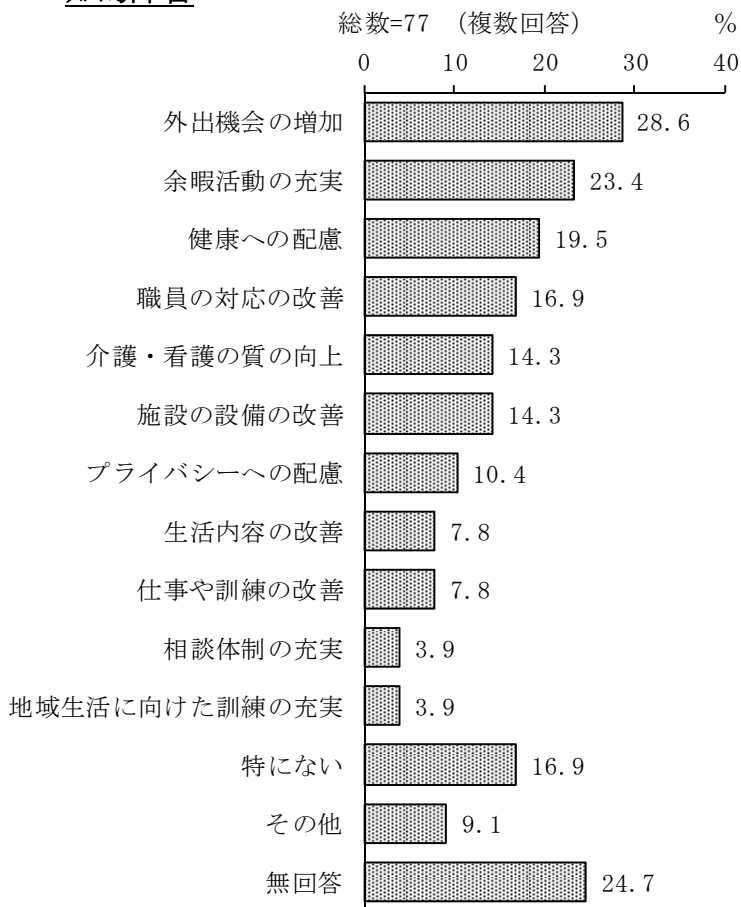
問 16 施設に対する要望

全体

身体障害



知的障害

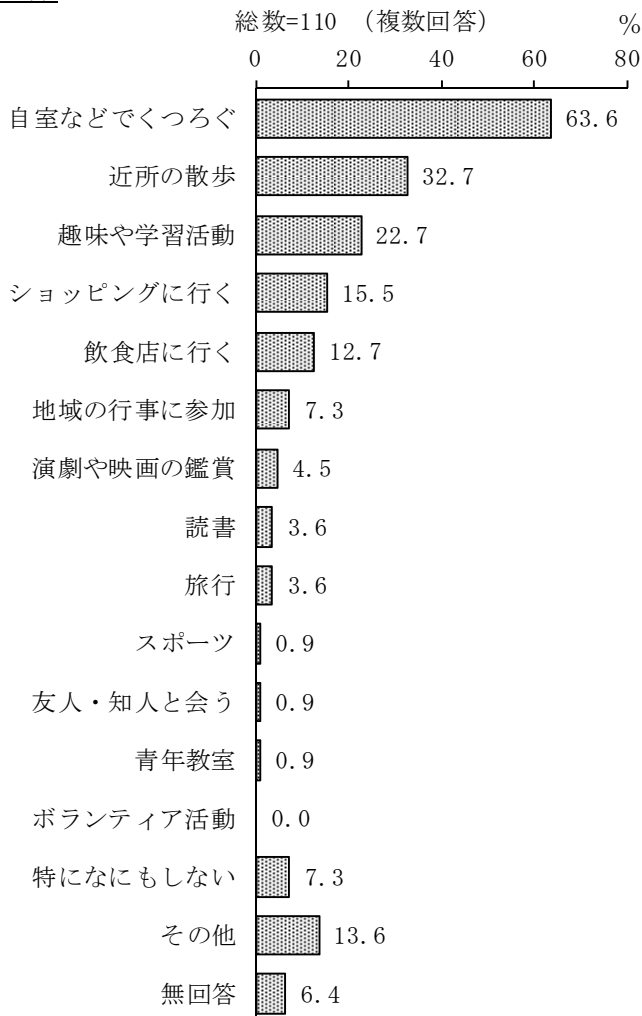


(7) 余暇の過ごし方

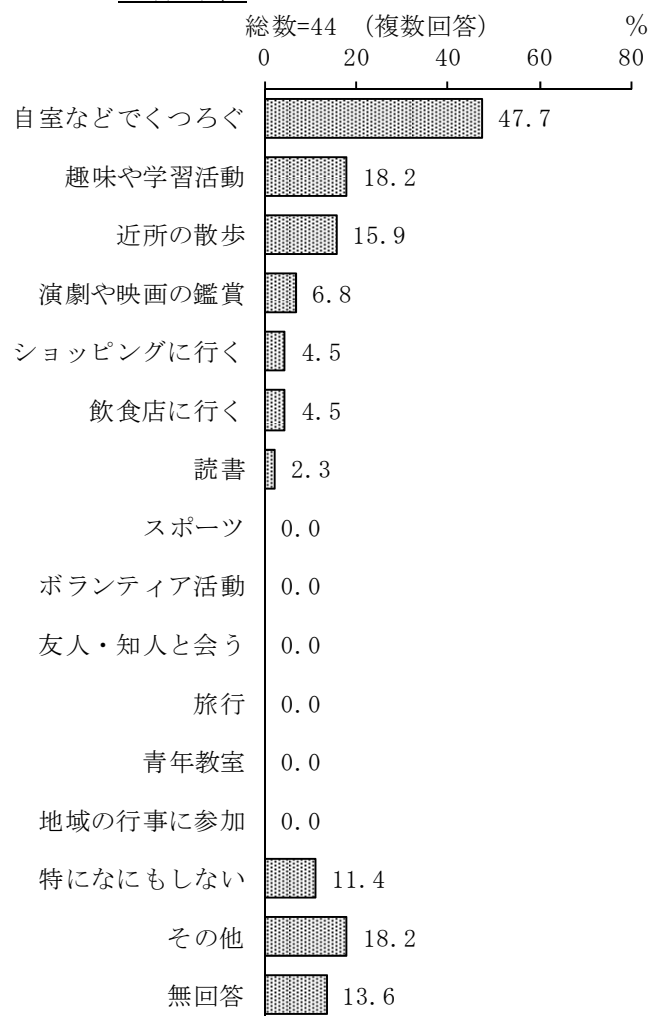
問 17 あなたは、休日など時間に余裕があるとき、主にどのように過ごしていますか。
(〇はいくつでも)

全体では、「自室などでくつろぐ」が 63.6%と最も多く、次いで「近所の散歩」が 32.7%、「趣味や学習活動」が 22.7%、「ショッピングに行く」が 15.5%となっています。
障害別に見ると、全体的に知的障害のほうがその傾向が強く現れています。

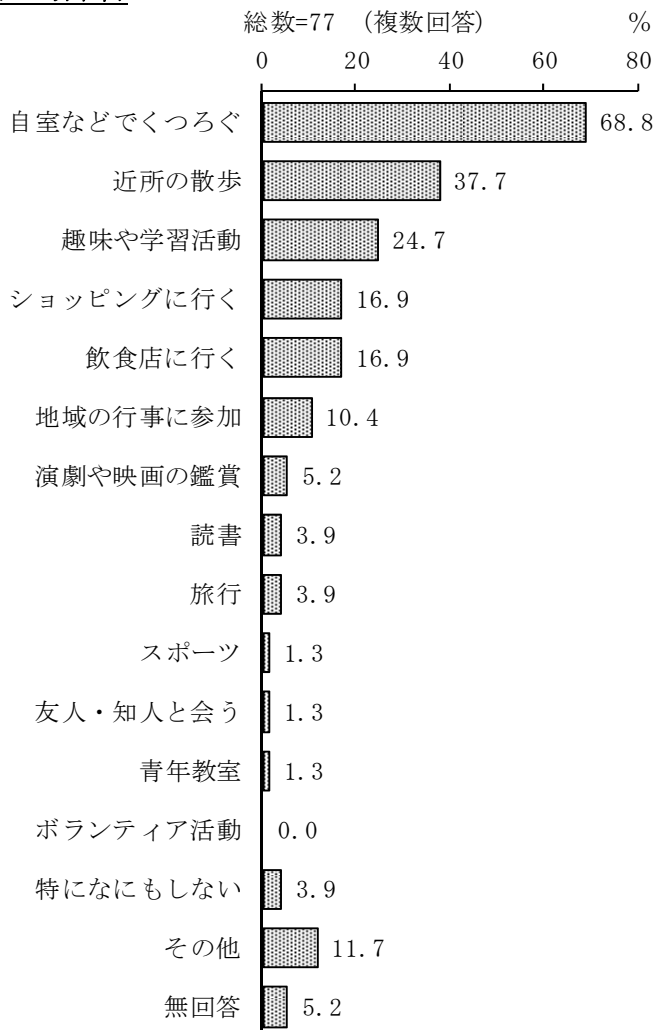
問 17 余暇の過ごし方 全体



身体障害



知的障害



障害ごとに年代別の結果を見ると、知的障害の「18～39歳」では「近所の散歩」が52.6%と多くなっています。

余暇の過ごし方と年代（障害別）

	全体	趣味や学習活動	スポーツ	ボランティア活動	友人・知人と会う	演劇や映画の鑑賞	ショッピングに行く	飲食店に行く	読書
全体	110 100.0	25 22.7	1 0.9	-	1 0.9	5 4.5	17 15.5	14 12.7	4 3.6
身体障害	18～39歳	2 100.0	-	-	-	1 50.0	-	-	-
	40～64歳	29 100.0	6 20.7	-	-	2 6.9	1 3.4	2 6.9	1 3.4
	65歳以上	13 100.0	2 15.4	-	-	-	1 7.7	-	-
知的障害	18～39歳	19 100.0	4 21.1	1 5.3	-	1 5.3	4 21.1	3 15.8	1 5.3
	40～64歳	50 100.0	12 24.0	-	-	1 2.0	2 4.0	8 16.0	9 18.0
	65歳以上	8 100.0	3 37.5	-	-	-	1 12.5	1 12.5	-
無回答	6 100.0	1 16.7	-	-	-	2 33.3	1 16.7	1 16.7	

	旅行	青年教室	自室などでくつろぐ	地域の行事に参加	近所の散歩	特になにもしない	その他	無回答
全体	4 3.6	1 0.9	70 63.6	8 7.3	36 32.7	8 7.3	15 13.6	7 6.4
身体障害	18～39歳	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-
	40～64歳	-	15 51.7	-	6 20.7	2 6.9	5 17.2	4 13.8
	65歳以上	-	5 38.5	-	-	3 23.1	3 23.1	2 15.4
知的障害	18～39歳	-	15 78.9	1 5.3	10 52.6	-	1 5.3	-
	40～64歳	2 4.0	1 2.0	33 66.0	6 12.0	19 38.0	2 4.0	7 14.0
	65歳以上	1 12.5	-	5 62.5	1 12.5	-	1 12.5	1 12.5
無回答	1 16.7	-	4 66.7	-	3 50.0	-	1 16.7	

(8) ご本人の年収額

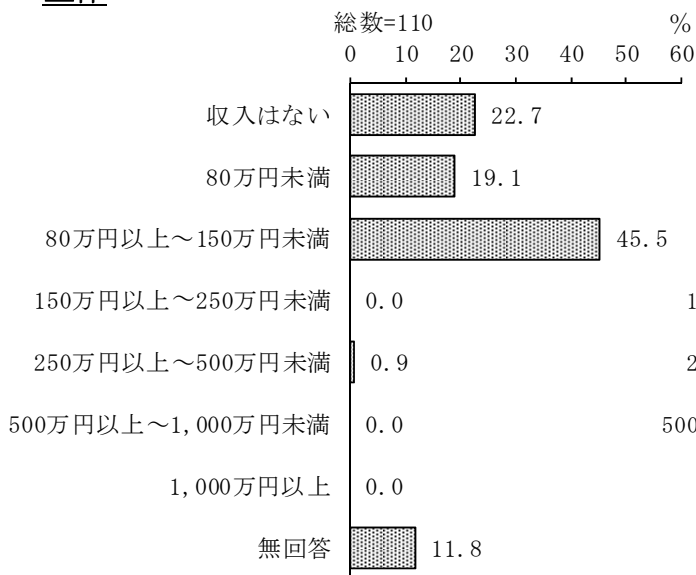
問 18 あなたご本人の年収額をお聞きします。税金等を差し引く前の額でお答えください。(〇はひとつ)

全体では、「80万円以上～150万円未満」が45.5%と最も多く、次いで「収入はない」が22.7%、「80万円未満」が19.1%となっています。

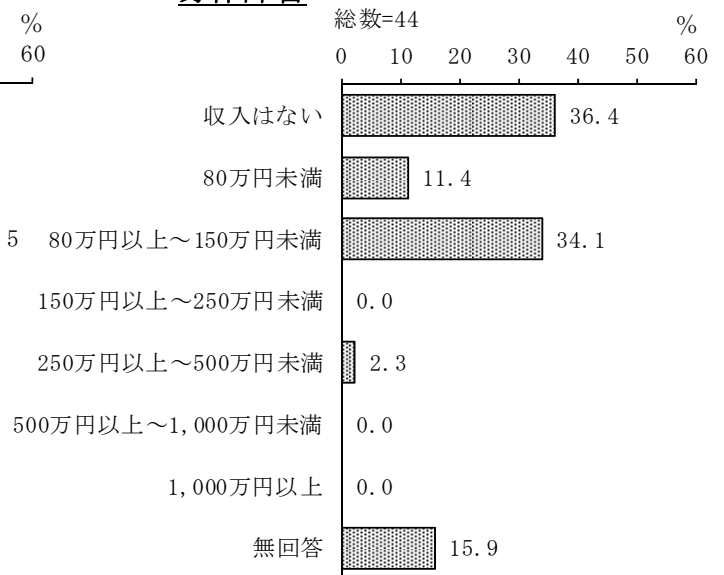
障害別に見ると、身体障害では「収入はない」が最も多くなっています。

問 18 ご本人の年収額

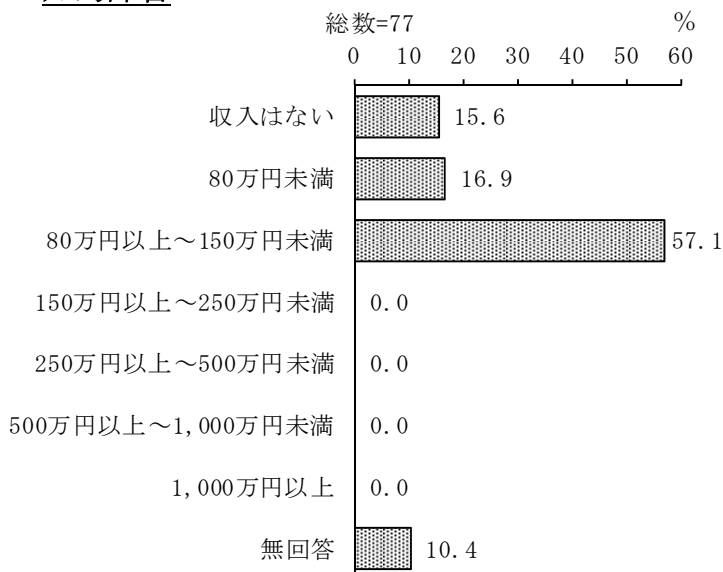
全体



身体障害



知的障害



(9) 収入の内訳

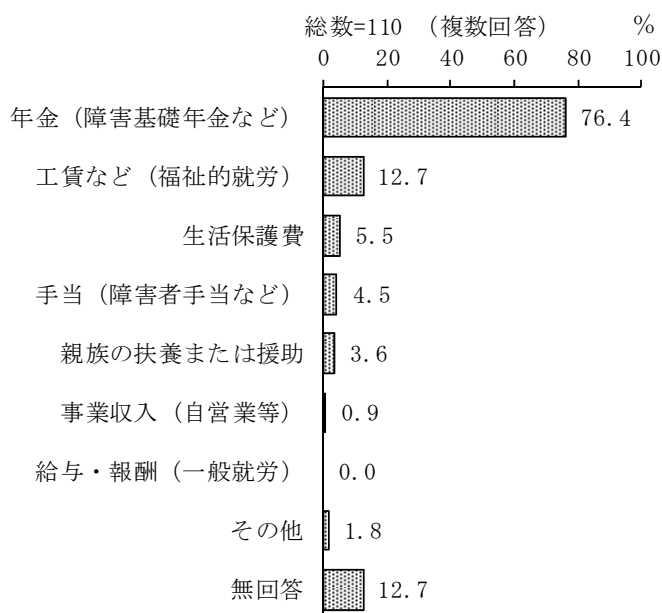
問 19 あなたご本人の収入の内訳をお聞きします。(〇はいくつでも)

全体では、「年金（障害基礎年金など）」が76.4%と最も多く、次いで「工賃など（福祉的就労）」が12.7%となっています。

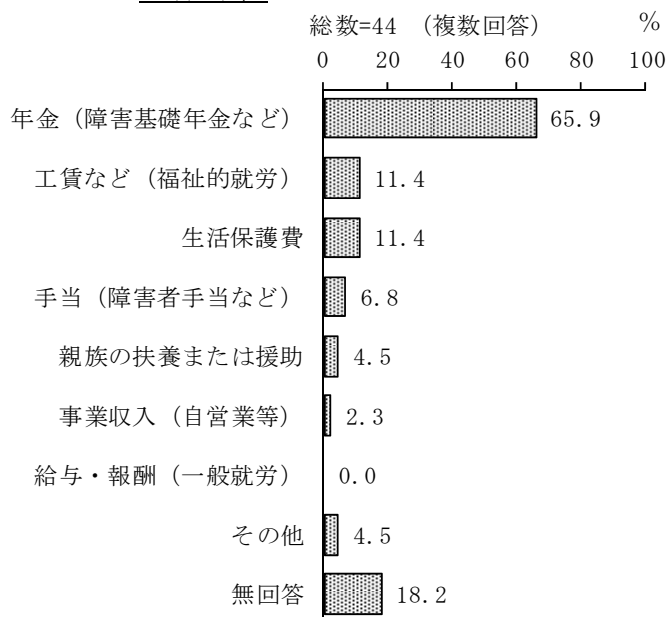
障害別に見ると、身体障害では「生活保護費」がやや多くなっています。

問 19 収入の内訳

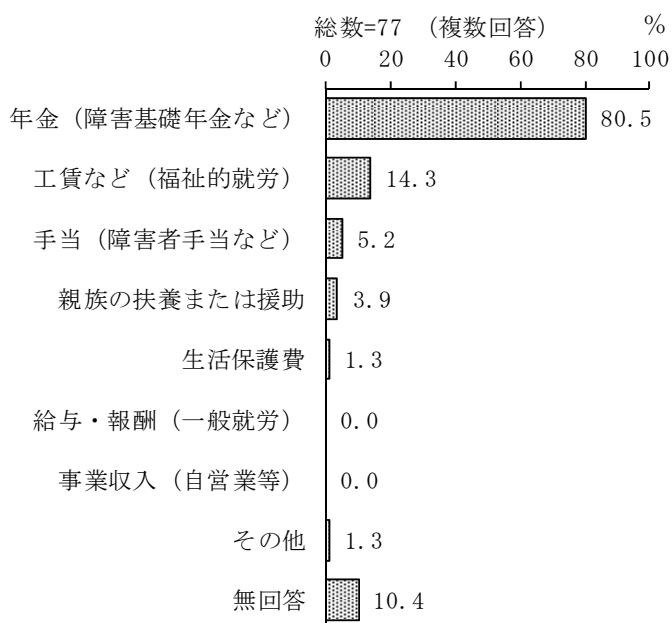
全体



身体障害



知的障害



4 外出やバリアフリーについて

(1) 外出の頻度

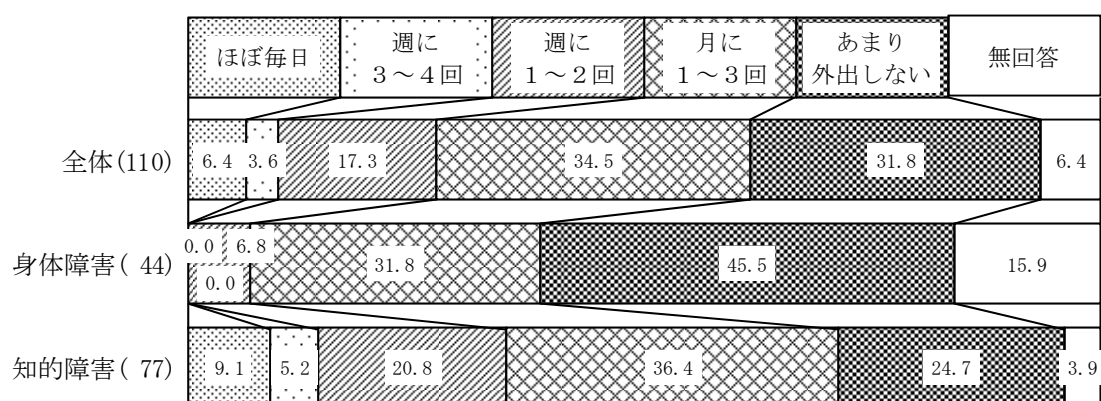
問 20 あなたはどのくらいの頻度で外出していますか。(〇はひとつ)

全体では、「月に1～3回」が34.5%と最も多く、次いで「あまり外出しない」が31.8%、「週に1～2回」が17.3%となっています。

障害別に見ると、身体障害のほうが外出機会が少ない傾向にあります。

問 20 外出の頻度

単位:%



(2) こころのバリアフリーについて

「こころのバリアフリー」

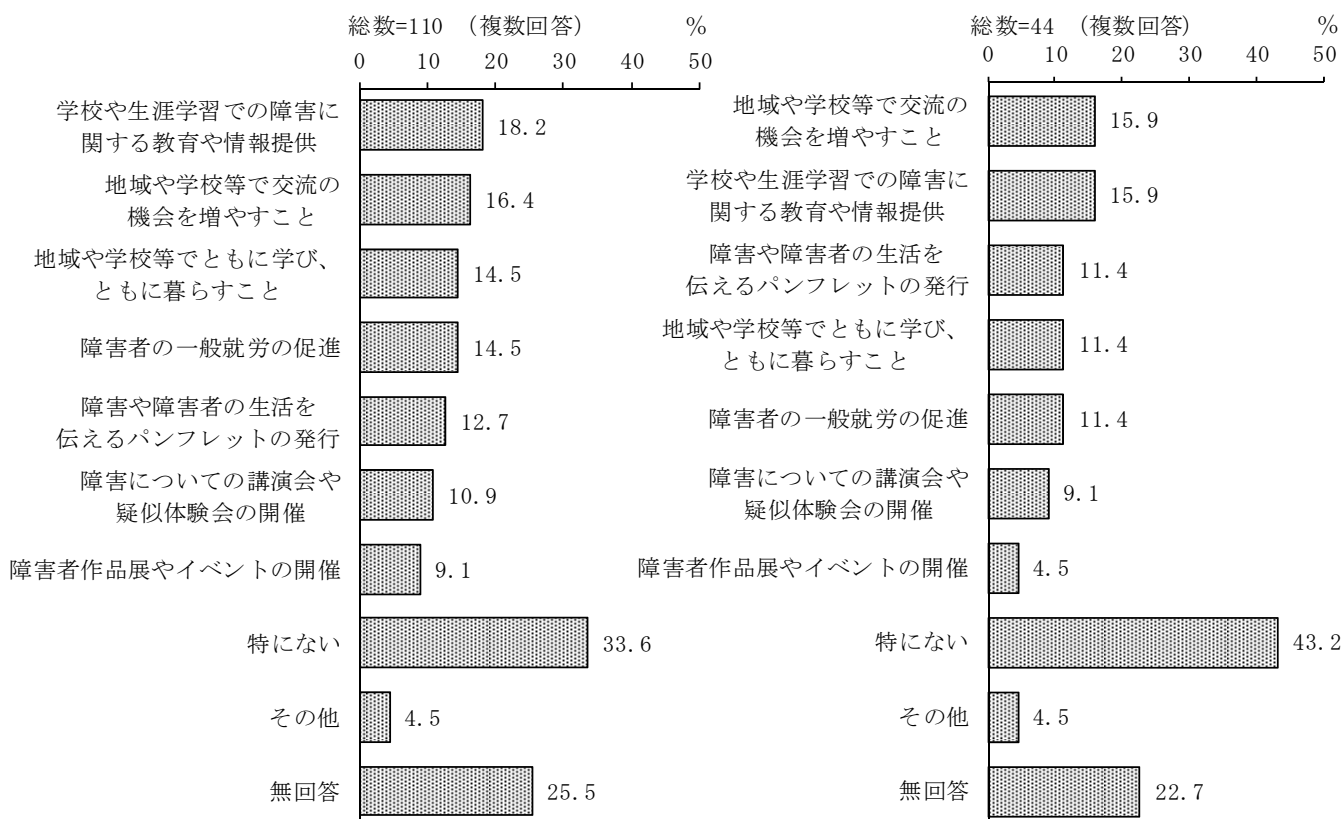
障害に対する差別や偏見、誤解や理解不足などからくる「こころの障壁(バリア)」を無くし、社会の中で障害があることによる不利益を受けることなく、障害がある人もない人も共に生活できる社会を実現していくことです。ここでは、こころのバリアフリーについてお聞きします。

問 21 あなたは、区が「こころのバリアフリー」を進めていくためにどのようなことに力を入れるべきだと思えますか。(〇はいくつでも)

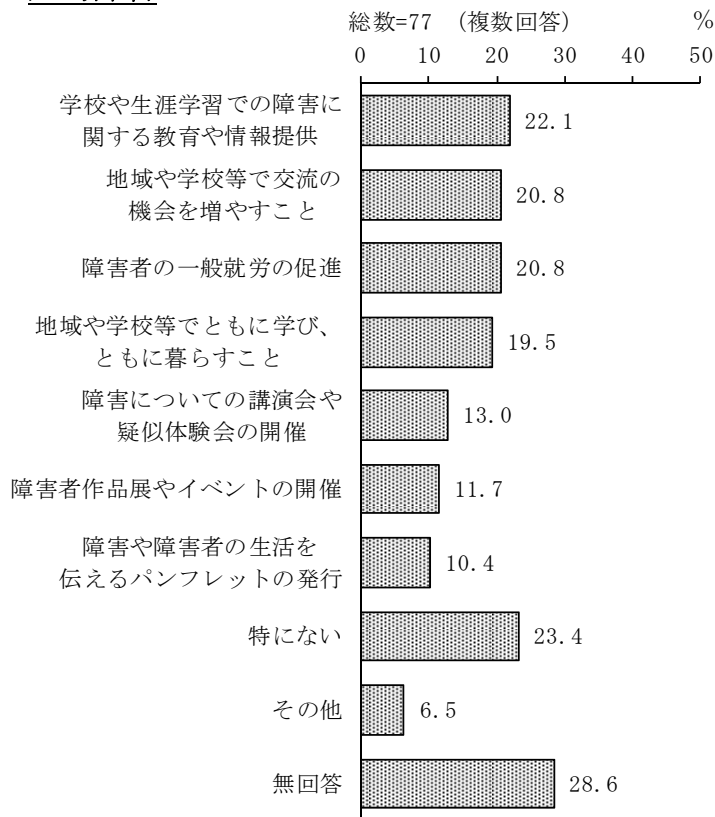
全体では、「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報提供」が 18.2%と最も多く、次いで「地域や学校等で交流の機会を増やすこと」が 16.4%、「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」と「障害者の一般就労の促進」がそれぞれ 14.5%となっています。障害別の結果もほぼ同様の傾向でした。

問 21 こころのバリアフリーについて 全体

身体障害



知的障害



5 今後の暮らし方について

(1) 今後の生活の希望

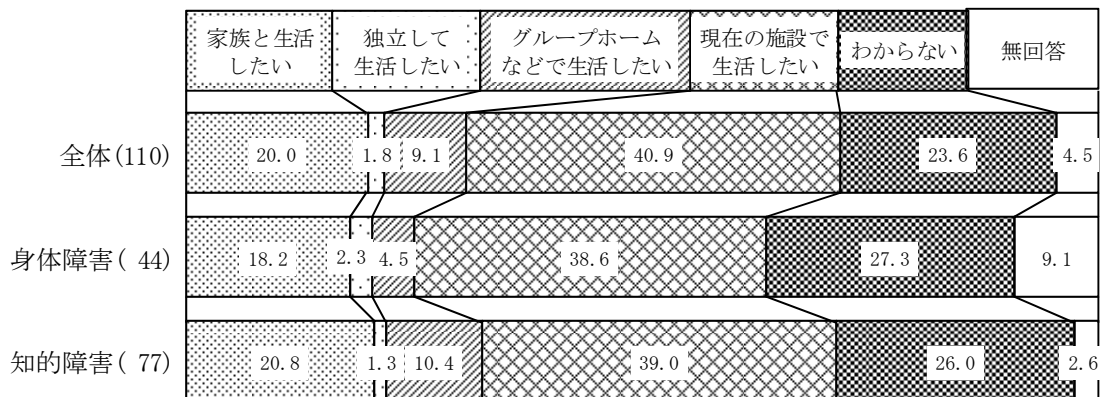
問 22 あなたは今後、どのような生活を希望しますか。(〇はひとつ)

全体では、「現在の施設で生活したい」が40.9%と最も多く、次いで「施設を退所して、家族と生活したい」が20.0%、「施設を退所して、グループホームなどで生活したい」が9.1%となっています。

障害別に見ると、知的障害では「施設を退所して、グループホームなどで生活したい」がやや多くなっています。

問 22 今後の生活の希望

単位:%



(2) 地域での暮らし方の希望

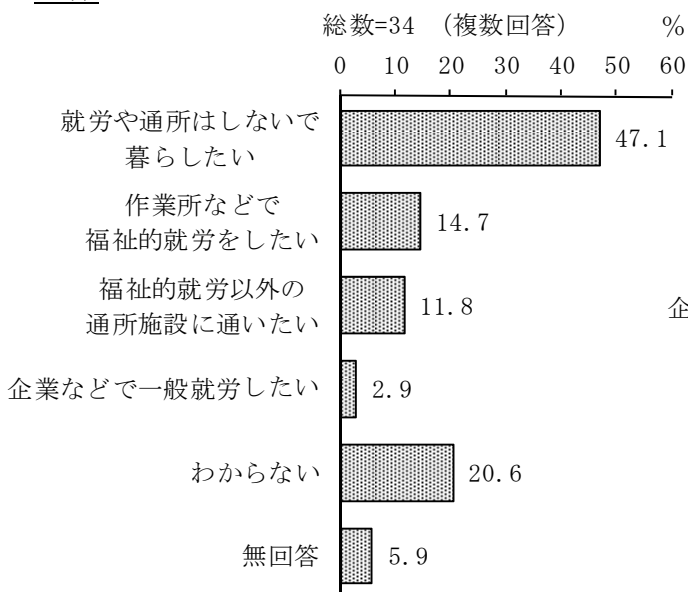
問 23 問 22 で「施設を退所したい（1～3）」と回答した方にお聞きします。地域でどのような暮らし方をしたいと思いますか。（〇はいくつでも）

全体では、「就労や通所はしないで暮らしたい」が 47.1%と最も多く、次いで「作業所などで福祉的就労をしたい」が 14.7%、「福祉的就労以外の通所施設に通いたい」が 11.8%となっています。

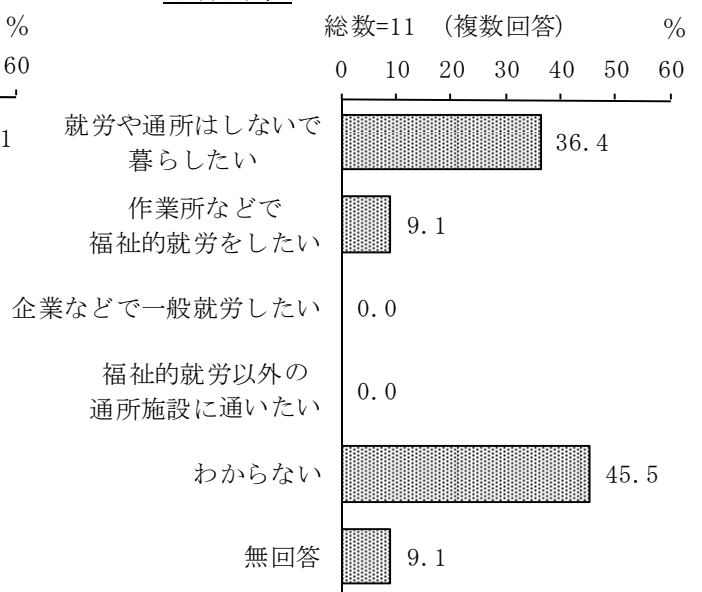
障害別の結果もほぼ同様の傾向でした。

問 23 地域での暮らし方の希望

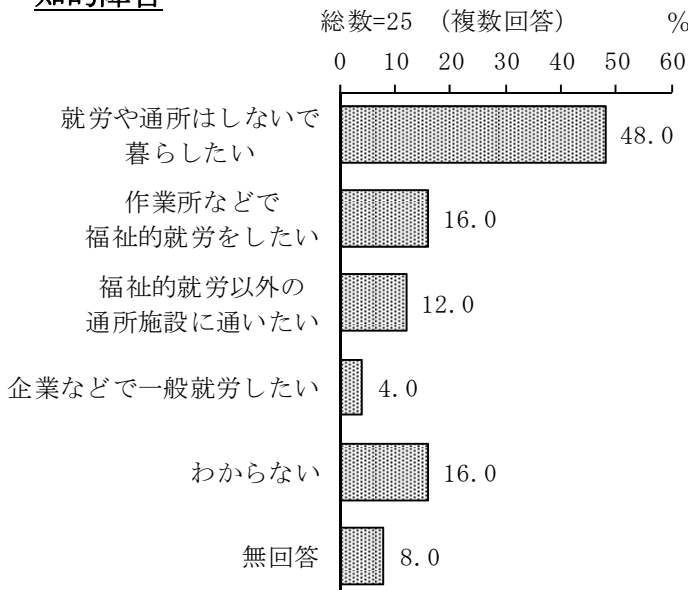
全体



身体障害



知的障害



(3) 暮らしたい地域

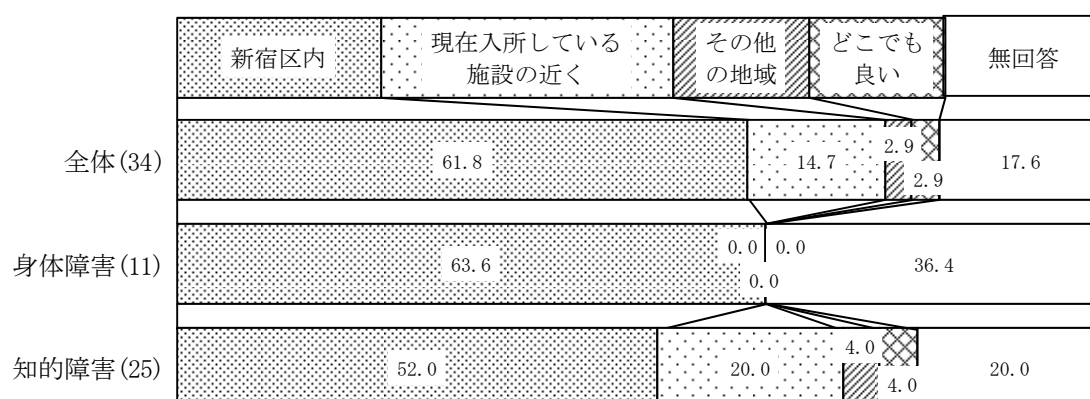
問 24 問 22 で「施設を退所したい（1～3）」と回答した方にお聞きします。退所後はどの地域で暮らしたいとおもいますか。（○はひとつ）

全体では、「新宿区内」が 61.8%と最も多く、次いで「現在入所している施設の近く」が 14.7%となっています。

障害別に見ると、身体障害で回答があった方は全て「新宿区内」と回答しています。

問 24 暮らしたい地域

単位：%



(4) 暮らしたい地域を選んだ理由

問 25 問 24 で「1 新宿区内」、「2 現在入所している施設の近く」、「3 その他の地域」と回答した方にお聞きします。その地域を選んだ理由は何ですか。(〇はいくつでも)

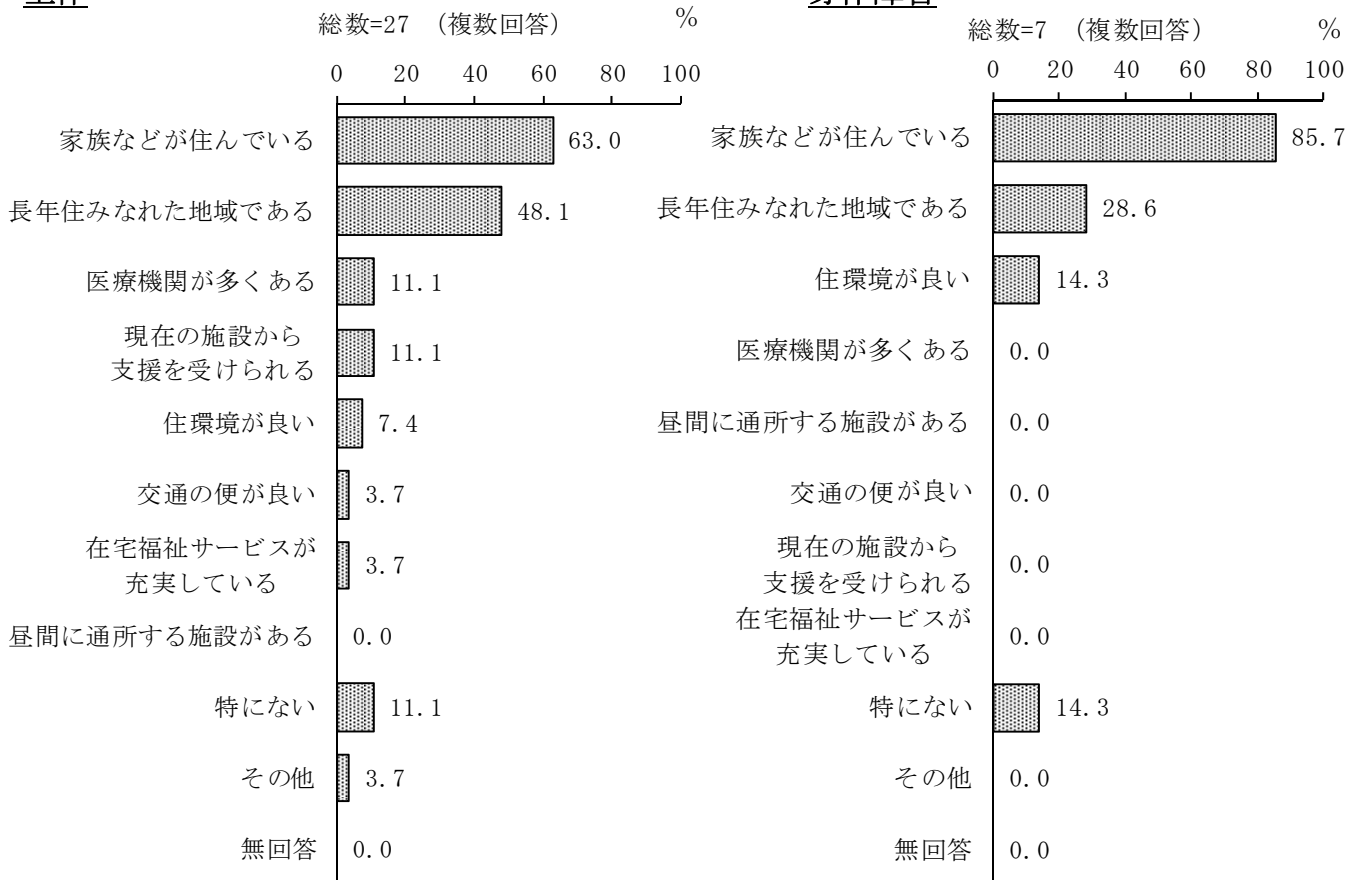
全体では、「家族などが住んでいる」が 63.0%と最も多く、次いで「長年住みなれた地域である」が 48.1%となっています。

障害別の結果もほぼ同様の傾向でした。

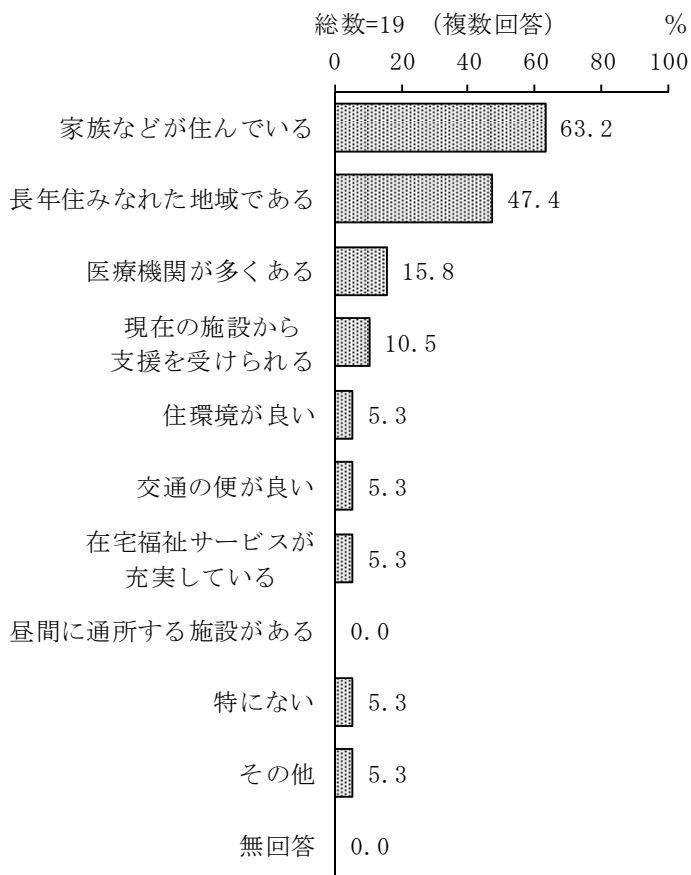
問 25 暮らしたい地域を選んだ理由

全体

身体障害



知的障害



(5) 施設での生活を続けたい理由

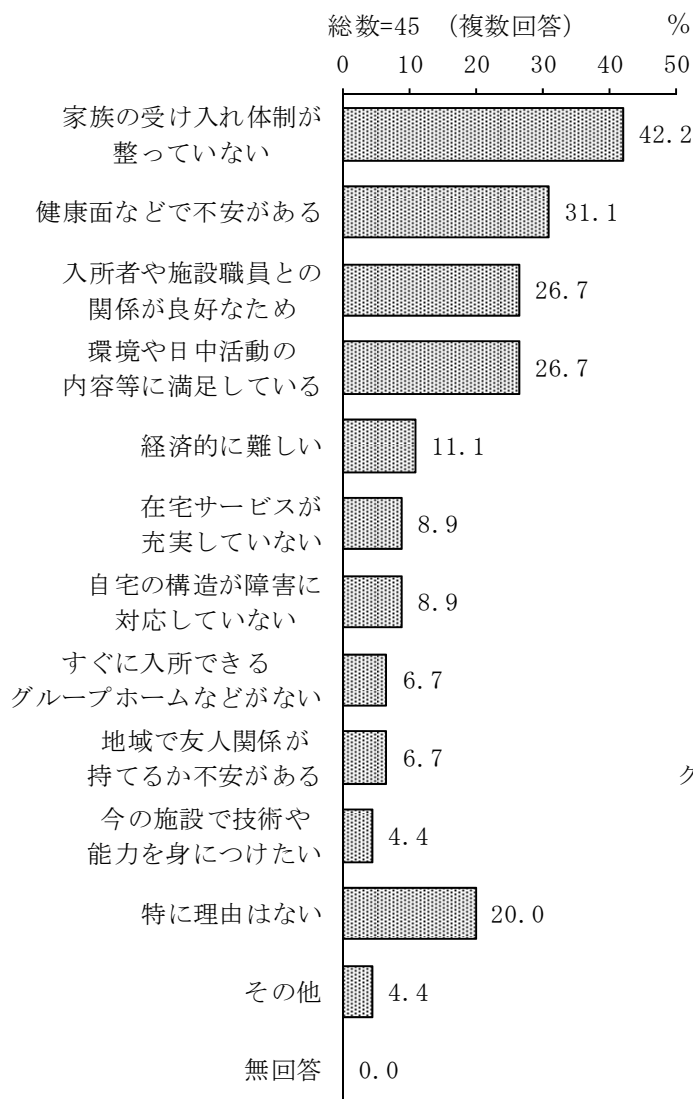
問 26 問 22 で「4 現在の施設で生活したい」と回答した方にお聞きします。現在の施設での生活を続けたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

全体では、「家族の受け入れ体制が整っていない」が 42.2%と最も多く、次いで「健康面などで不安がある」が 31.1%、「入所者や施設職員との関係が良好なため」と「環境や日中活動の内容等に満足している」がそれぞれ 26.7%となっています。

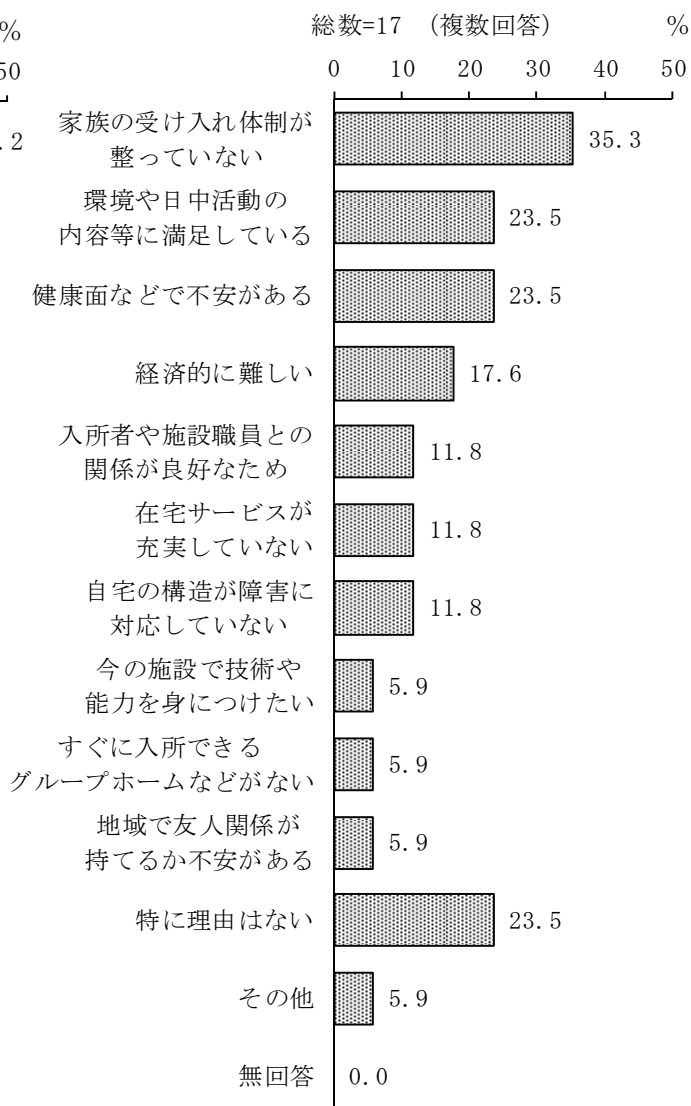
障害別に見ると、知的障害では「入所者や施設職員との関係が良好なため」がやや多くなっています。

問 26 施設での生活を続けたい理由

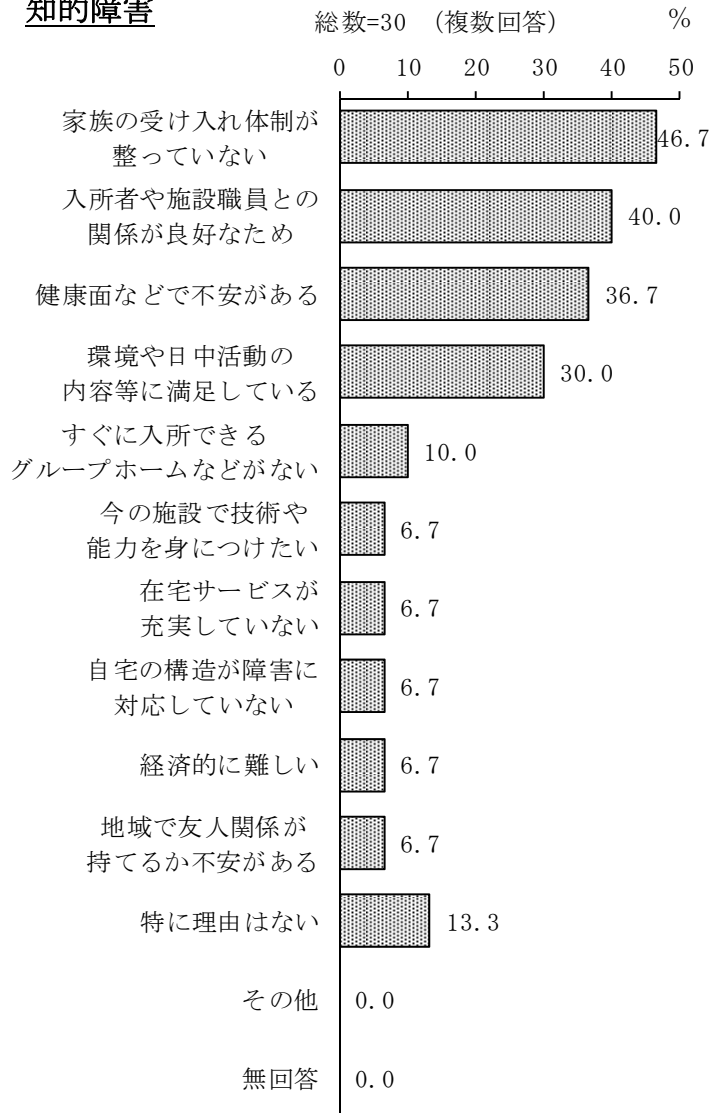
全体



身体障害



知的障害



(6) 重要だと思う施策

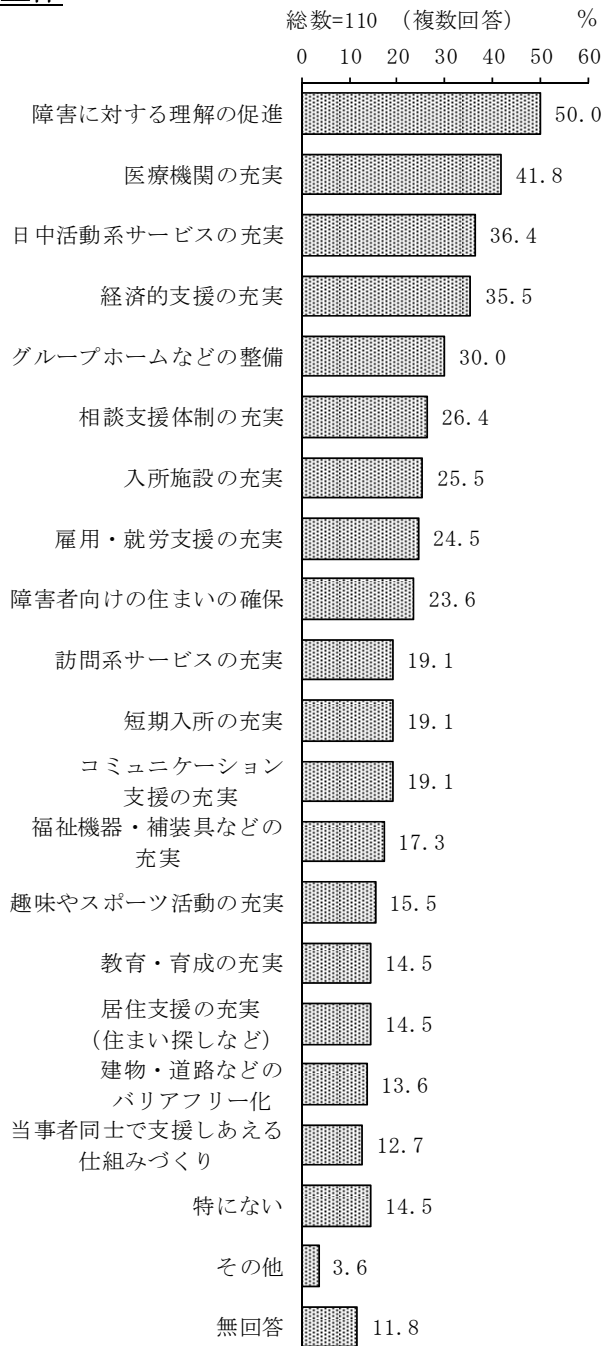
問 27 障害者が地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「障害に対する理解の促進」が50.0%と最も多く、次いで「医療機関の充実」が41.8%、「日中活動系サービスの充実」が36.4%、「経済的支援の充実」が35.5%となっています。

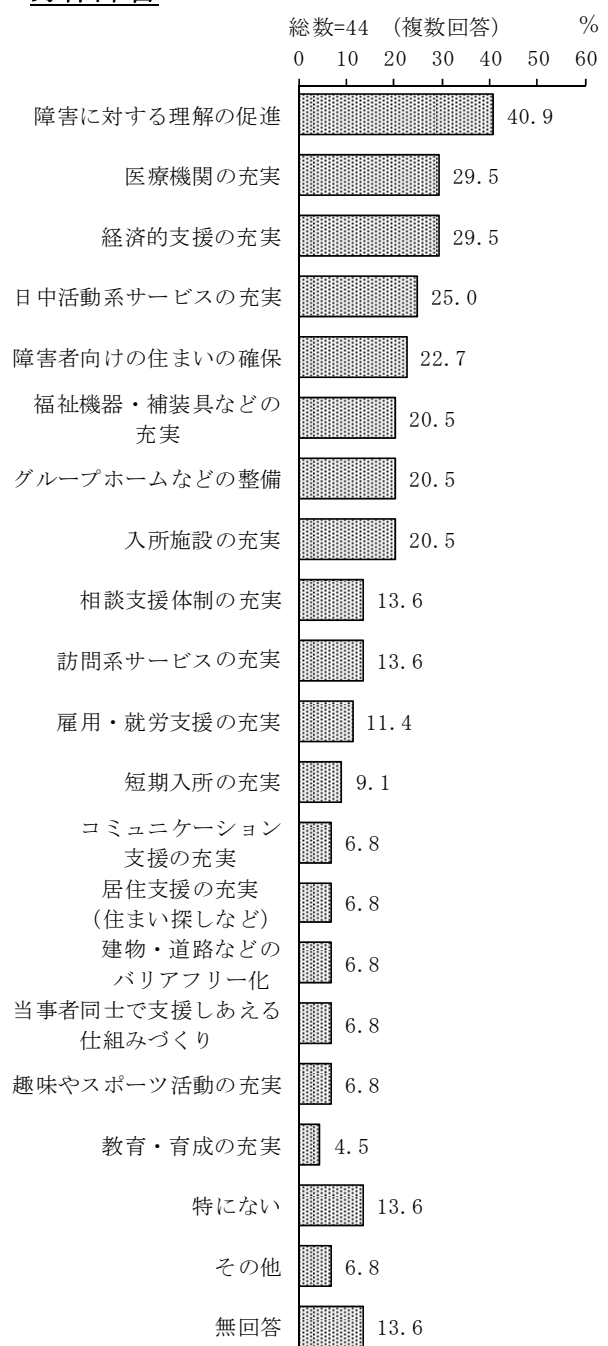
障害別に見ると、知的障害では「日中活動系サービスの充実」、「グループホームなどの整備」がやや多くなっています。

問 27 重要だと思う施策

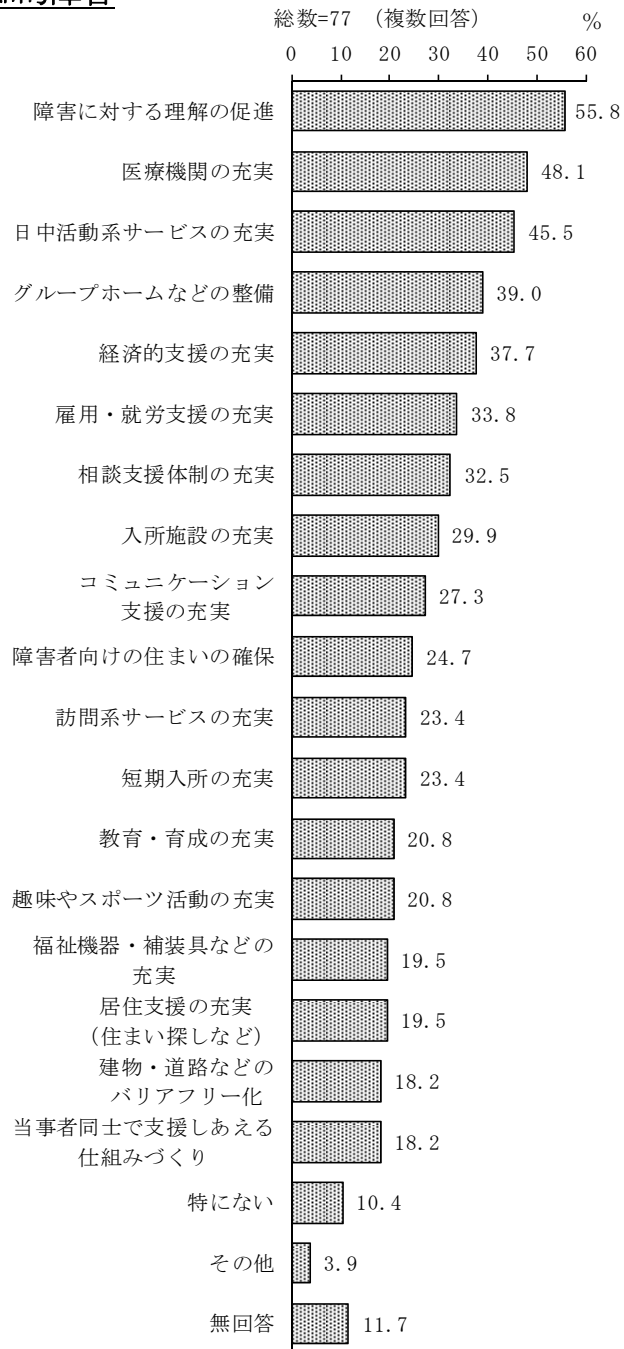
全体



身体障害



知的障害



6 相談や福祉の情報について

(1) 困ったときの相談相手

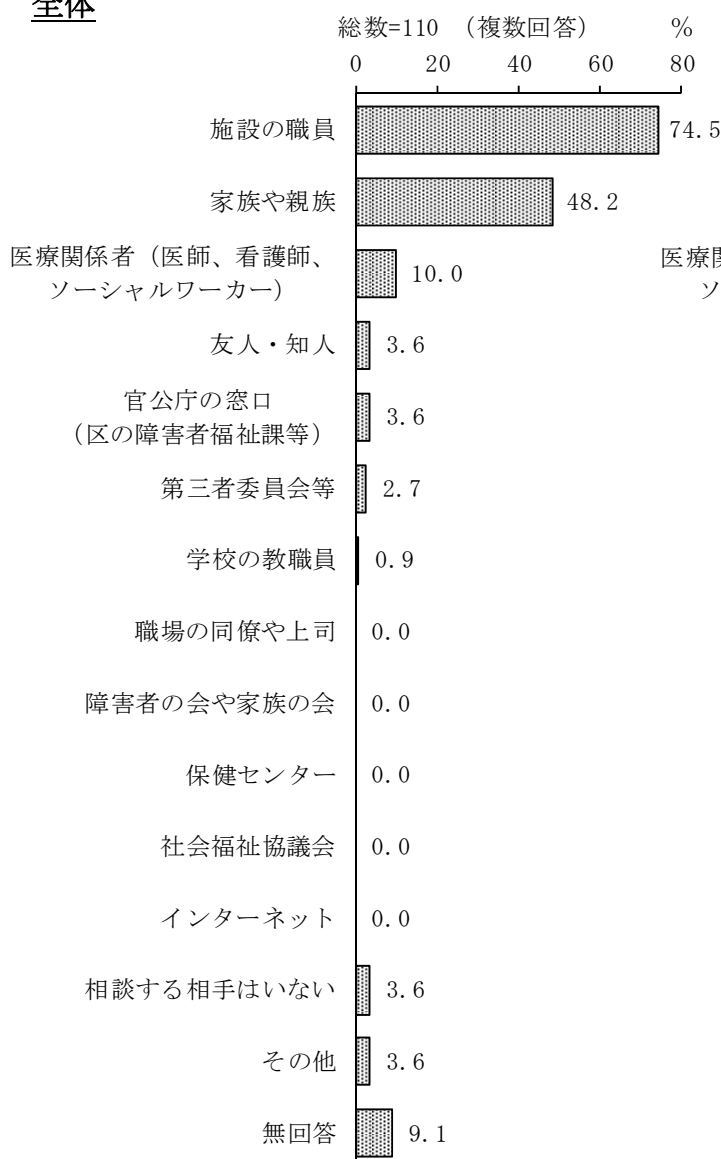
問 28 あなたが困ったときに相談する相手は誰ですか。(〇はいくつでも)

全体では、「施設の職員」が74.5%と最も多く、次いで「家族や親族」が48.2%となっています。

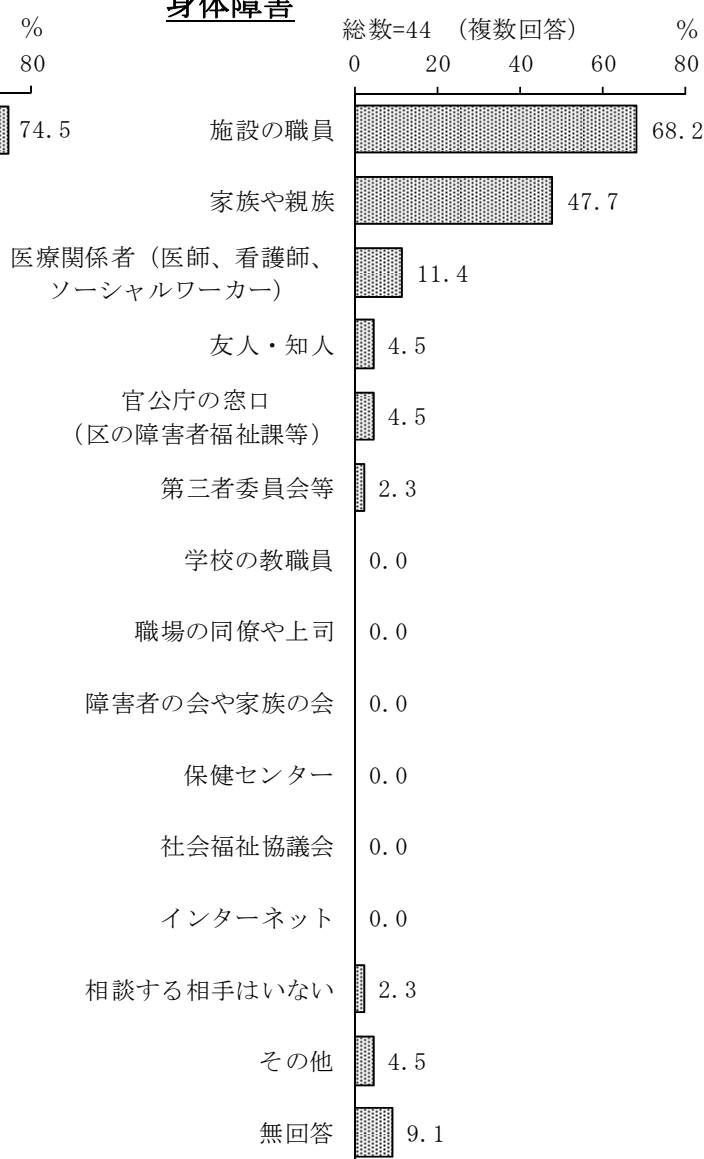
障害別の結果もほぼ同様の傾向でした。

問 28 困ったときの相談相手

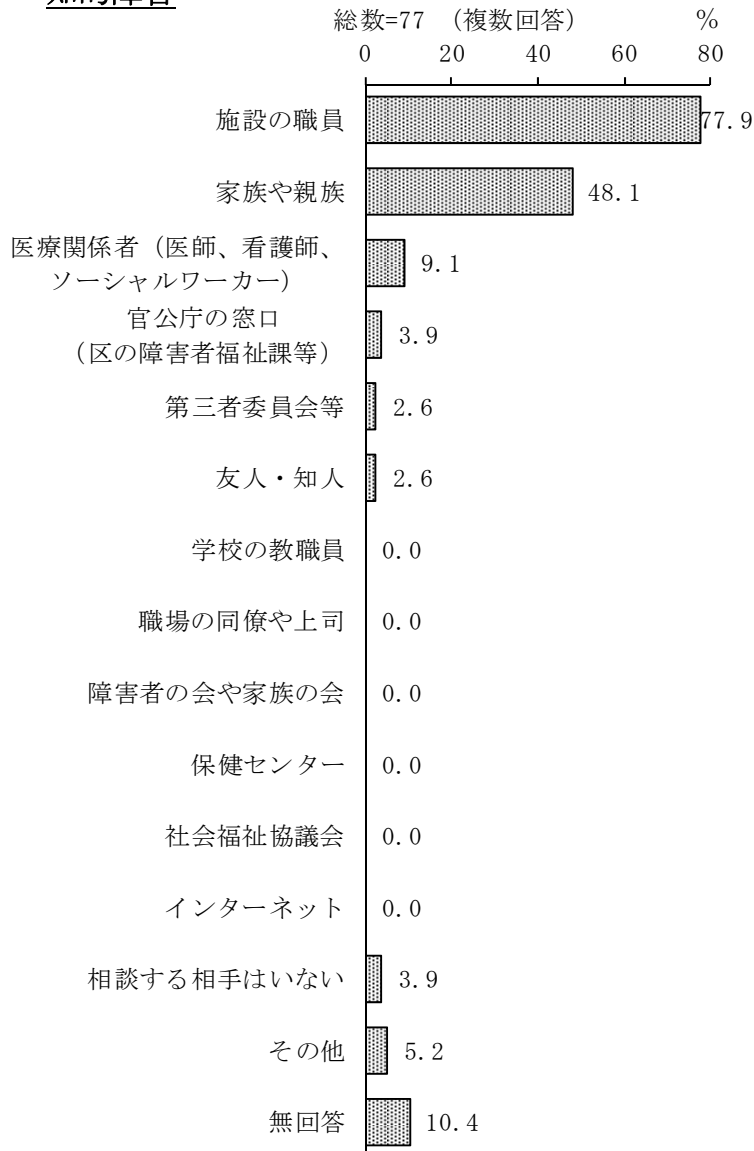
全体



身体障害



知的障害



(2) 福祉情報の入手先

問 29 あなたは、福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

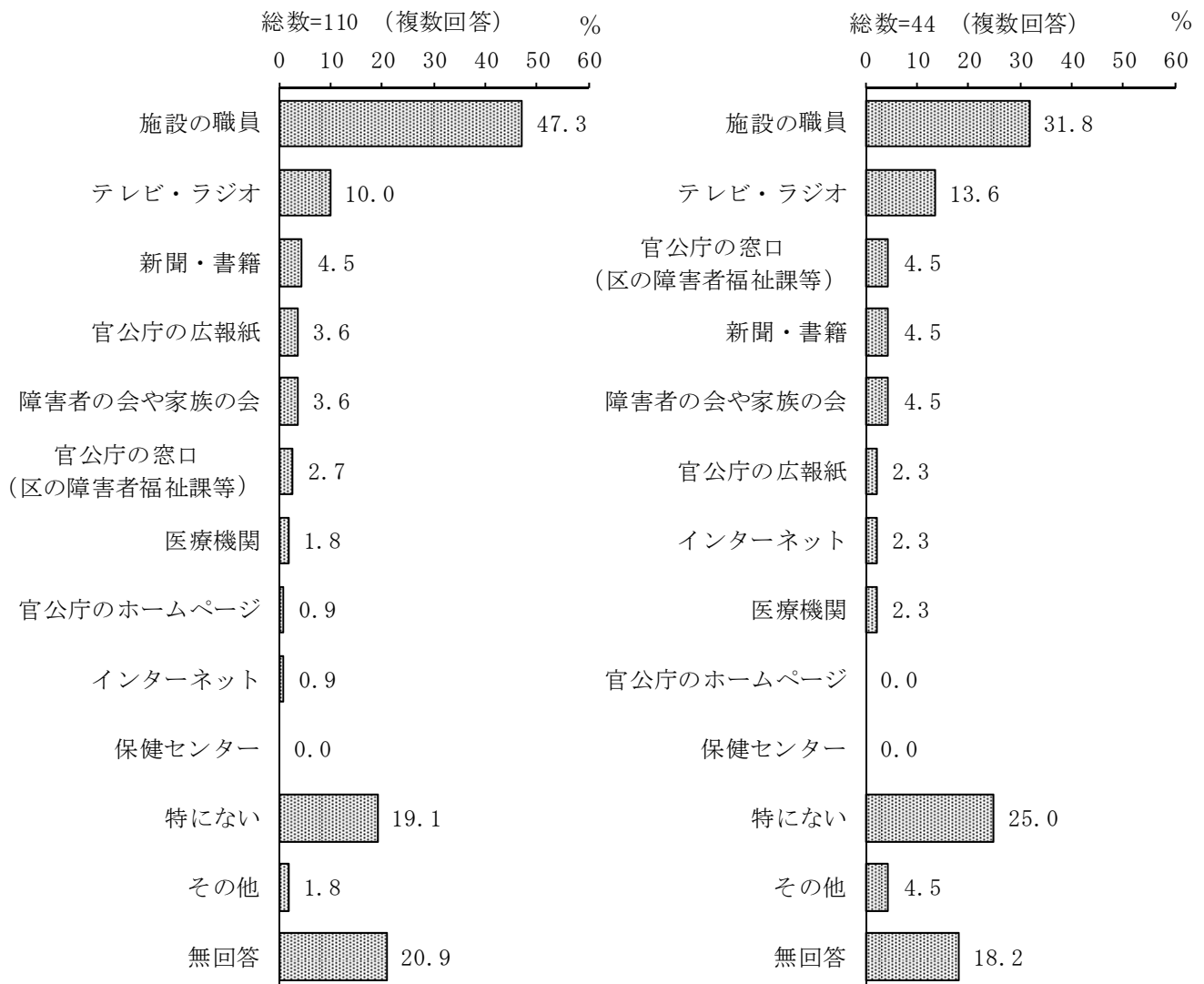
全体では、「施設の職員」が47.3%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」が10.0%となっています。

障害別の結果もほぼ同様の傾向でした。

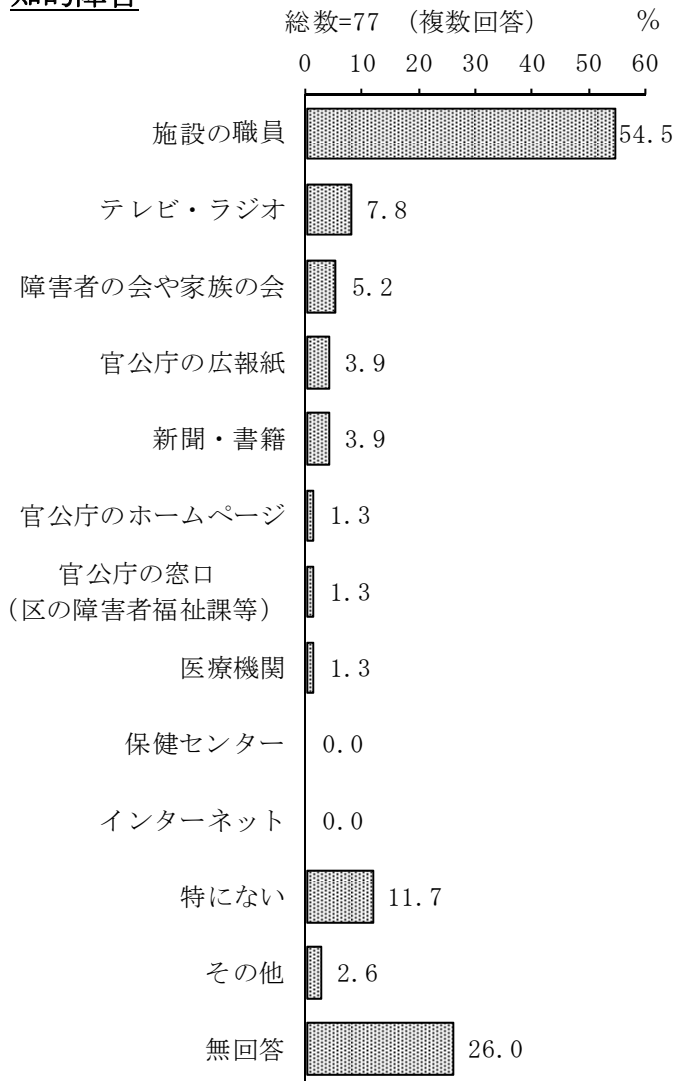
問 29 福祉情報の入手先

全体

身体障害



知的障害



7 自由意見

問 30 障害者施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

問 30 自由意見

「福祉サービス」についての意見が最も多く、6件となっています。次いで「アンケート」についての意見が4件、「行政・制度」についての意見と「医療・健康」についての意見が3件となっています。

	全体	行政・制度	福祉サービス	医療・健康	将来について	障害への理解	アンケート	その他
全体	16 100.0	3 18.8	6 37.5	3 18.8	2 12.5	1 6.3	4 25.0	2 12.5

* 複数の分野にまたがる回答については、それぞれの分野の集計数に含まれています。

○主な意見

ここに掲載したのは回答の一部です。カッコ内は（年齢・性別・障害の種類／調査票の記入者）です。紙面の都合で回答の一部を省略・要約している場合があります。

①行政・制度（3件）

「施設の場合、外部からの刺激を受けにくく、職員の資質向上が困難と思われる。資格取得を促進してほしい。地域生活（親の近く）がしたいが、サービスが少ない。措置入所により、本人置き去りの支援、生活となっている。重度の方でも地域で生活できるように計画を立てて欲しい。」（45歳・男性・身体障害・知的障害／施設の職員）

②福祉サービス（6件）

「全面介護なので、今以上の人員不足は大きな不安に繋がる。最低限、今の状態を維持出来るようお願いしたい。」（63歳・男性・身体障害／ご家族の方）

「医療的ケアも十分に受けられる福祉と医療、併設型施設があればと思う。」（57歳・男性・

知的障害／施設の職員)

③医療・健康（3件）

「入院させてくれる医療機関が欲しい。安心して生活したい。」(44歳・男性・知的障害／施設の職員)

「病気やケガをした時、安心して入院出来る病院が欲しい。年を取って親がいなくなった後、安心して生活が送れる様にして欲しい。」(49歳・男性・身体障害・知的障害／施設の職員)

④将来について（2件）

「知的障害の場合や本人の意見、希望は言語を持たない重度の障害者の場合、全くと言ってよいほど伝えることが出来ません。また様々なサービスを利用したいと思っても、重度知的障害の場合、問題行動が多いため利用を断わられることが多く、結果として家族が関わる以外の選択が極めて少なくなります。親に強く依存して生活する事に親亡き後の不安を強く感じておりました。」(29歳・男性・知的障害／ご家族の方)

⑤障害への理解（1件）

「自閉傾向にある個人は（私）、他の方との交流が上手くありません。新宿にお住まいの方もそうでない方も、支援して頂く方、理解のある方が身近に居たらどんなに心強いでしょう。そんなサービスや施策を目指して欲しいものです。」(44歳・男性・知的障害／施設の職員)

⑥アンケート（4件）

「肢体不自由、言語障害の為、全てのアンケートにお答え出来ませんことをお許し下さい。」(79歳・女性・身体障害／ご家族の方)

「記述に関しては現在ご本人が入所している施設での記入となる為不明な箇所などありますが、ご了承下さい。」(45歳・男性・身体障害・知的障害／施設の職員)